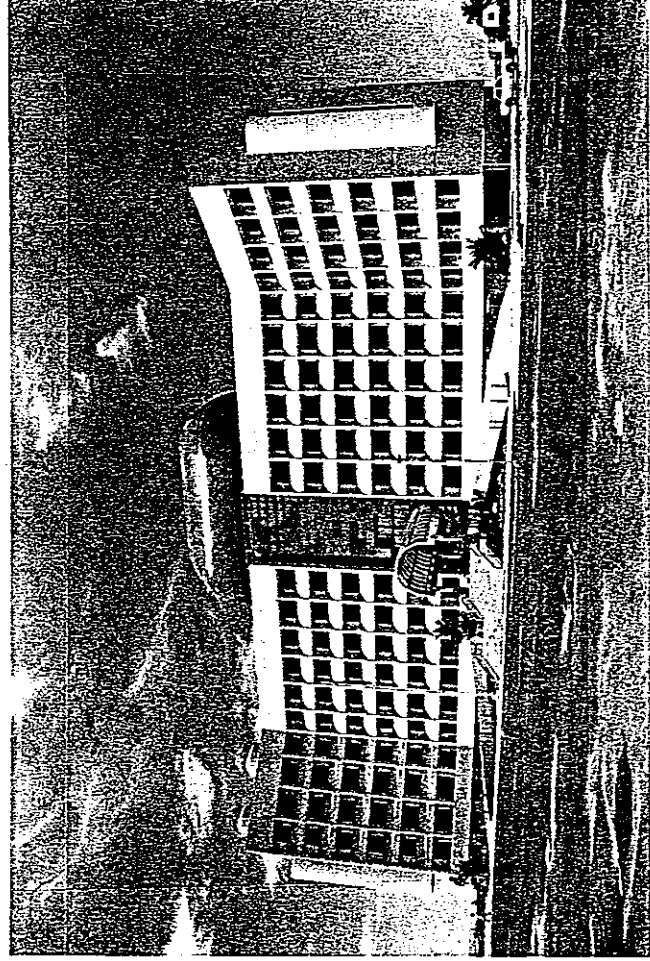


Manuia

青年海外協力隊西サモアOB・OG会機関誌

平成7年4月15日発行



西サモア新政府庁舎

目次

1. 第2回会報に寄せて	1
2. 現在の西サモア隊員について	2
3. 西サモア隊員派遣状況表	4
4. 西サモア隊員配置図	5
5. 西サモアの最新情報リポート	6
6. 西サモア隊員情報誌マシナからの抜粋	9
7. 現地最新状況（写真掲載）	24
8. 西サモア研修生からの日本リポート	28
9. 西サモアからのお知らせ	30
10. あの人、今	31
11. 阪神大震災リポート&義援金記事掲載	35
12. 新隊員紹介	36
13. B B Qリポート	39
14. 会報名の決定報告	40
15. 役員会活動内容&今後の予定	41
16. B B Q会計報告	42
17. 住所録記載情報変更	43

第2回会報に寄せて

昭和62年度2次隊

理数科教師

徳山 薫

風が日一日と温かくなり、花が咲き乱れ、春の到来を実感させられる今日此ですが、皆様は如何にお過ごしでしょうか。阪神大震災に遭われた方々は、困難な毎日之余儀なくされておられることと思います。一日も早く平常な生活、健康的な毎日を送ることが出来ますように心からお祈り申し上げます。

時が経つのは早いもので、西サモアOB・OG会結成より1年が過ぎました。会員の皆様方には昨年昭和記念公園でのバーベキューパーティーに多数御参加して下さり、また、お手伝いを戴くなど、陽に陰に御協力を戴きましてありがとうございます。

さて、今回西サモアOB・OG会報第2号をお届け致します。会報を作成するに当たり、役員会でミーティングを重ね、会員の方々が会報から知りたい事・楽しみたい事は何かということを検討しました。会員よりの声を集約した結果、次の2大項目を中心に編集企画を行いました。

1. 現在のサモアの最新情報（OB・OG隊員が西サモアで活動していた頃の状況と

現在の状況との比較）

2. 西サモアでかつて同じ釜の飯を食べ、楽しい時、辛い時を共に過ごした仲間は今、 どうしているのか

今後とも、役員一同、会員の方々と共に会を盛り上げるように努力をいたしますと共に、皆様方のご協力の程宜しくお願い申し上げます。

以上

現在の西サモア隊員について

平成6年12月8日

西サモア調整員

梅園 るみ子

西サモアの協力隊員は現在27名。皆一応に現代人の良さも悪さも身につけた普通の健康な男女です。西サモアに協力隊が派遣されてから23年、協力隊が30周年記念になるのに対してその歴史は古い方です。最近私も暇に任せて過去の隊員の皆さんの報告書を整理したり、その他の資料を整理しつつありますが、やはり隊員の皆さんの苦勞は一口では語れないものですよね。近年のサイクロンの被害は大きく、ようやく普及され、道路も前よりも良くなったと言われています。政府庁舎も中国の援助で建設されました。信号も6か所に取りつけられ、おしやれなショッピングセンターも出現し、あと2年後にはレファガにコンチネンタル系列のホテルが出来上がることです。西サモアは一見して発展途上国特有の(??)暗さはな区、逆に底抜けに明るく食物も豊富で”飢え”とは無縁です。

さて、隊員の方とは言いますとやっぱり”ここは南の楽園だ””どうして援助が必要なの?”との意見が聞かれます。ある隊員の中には”やっぱりアフリカに行きたかった”と言う人もいます。でもそれは昔アフリカ隊員だった私に言わせてもらえば、こんな南の楽園で2年間活動できてうらやましいということになってしましますが・・・。たぶん協力隊員は悪条件の下で飢える人々を助けるためにあるのだと思っているんですね?それもまたひとつの考え方だと思います。

現在の隊員はみんな大人しい感じがしてなりません。だからといって無茶をして欲しいと言うことではなくて、活動にしても私生活にしても特徴がないのです。日本の生活をそのまま持ち込んで2年間を終わって帰国するパターンになっているような気がします。配属先でのサモア人同僚との付き合いやホームステイ先との交流はその中でも日本の生活とは少し異なっている部分かもしれませんが、積極的に交際を広げる隊員は少数です。もっぱら日本人同志での集まりが多いようです。

”隊員は無休で働く労働者なんです”と言う隊員がいます。その中には自分から他の同僚の仕事を率先して引き受けている、またその仕事を奪っているということを自覚していない人もいるのかなと思うこともあります。もちろん学校の教師などで西サモアに人材がない場合は別としてですが。多くの日本人は自分がやらなければという使命感に燃えています。その結果すべてを進んで引き受けることになって、本人は忙しくなり、周囲の同僚は暇になるという状況があるのではないのでしょうか。これはそこに仕事が存在すればの話ですが。特に

保守操作系の職種では機会など、現物が無ければ活動できないと思います。こんでいる隊員が多く、座学の可能性は考えないのです。そこにはもちろん語学の不安があるために消極的になるのでしょうか。そして午後はドミトリーで休憩するというパターンになっています。

現在のサモア隊員についてちよつと辛口な事を書きましたが、これもひとつの風潮だと思っています。協力隊に参加して厳しい訓練を終わつて任国に到着し、その印象は様々だと思います。失望することもあり協力隊活動だけで各人の志望動機に展れば、またやる気が出てくると思うのですが、もう少し西サモアの良いところを見直して欲しいと、現在のサモア隊員に希望しています。

以上

西サモア国協力隊配属先別派遣状況表

1996年 1月 1日

配 属 省 庁 (機 関)		職	人数	備	考	年齢
[政府組織] 公共事業省	1 公共事業省	土木施工 建築構造計算 土質検査	3名			
			1名			
			1名			
郵政省	2 ヴァイテレ整備工場	自動車整備	1	森山昭彦 (アビ)		31
	3 サレロロガ整備工場	工作機械	1	片桐敏行 (サハ島 カロガ)		33
	4 無線保全所	電話線路 無線通信機	2名	青木和彦 (アビ) 毛利雅伸 (アビ)		33 33
農林水産省	5 電話交換局	通信電力	1	植村和久 (アビ)		39
	6 情報処理課	システムゾア	1	大沢もとい (アビ)		26
	7 畜産局	獣医	1	内館弥生 (アビ)		32
保健省	8 国立病院	助産婦 臨床検査技師 看護婦	3名	吉田智美 (アビ) 松本宏子 (アビ) 池田真由美 (サハ島 サウア)		29 27 33
	9 地方開発促進課	家政	1	坂本あかね (アビ)		28
	10 青年・スポーツ・文化省	柔道 視聴覚教育	2名	高橋信行 (アビ) 成田能暢 (アビ)		25 27
[非政府組織]	11 西サモア音楽学校	音楽	2	吉田知恵 (アビ) 澤井慶太 (アビ)		31 27
	12 ドンバコ 技術専門学校	自動車整備	1	榎本誠司 (アビ)		26
	13 ボール VIカレッジ	数学教師	1	永井清志 (ウカモカ)		28
ウ	14 シナベ幼稚園	幼稚園教師	1	佐藤教子 (アビ)		27
	15 西サモア国立大学	システムゾア	1	藤本早由合 (アビ)		25
	16 南太平洋大学	植物学	1	小林直美 (アビ)		26
ボ	17 西サモア船舶公社	電気機器	1	諸岡政洋 (アビ)		30
	18 ファイアファマ 養護学校	養護	1	久芳尚子 (アビ)		28
	19 ロクダマアイ 養護学校	養護	1	土屋博美 (アビ)		24
ル	20 クリマカ・カレッジ	家政 技術科教師	2名	岩井美紀 (ウカ) 浅木浩文 (ウカ)		31 30

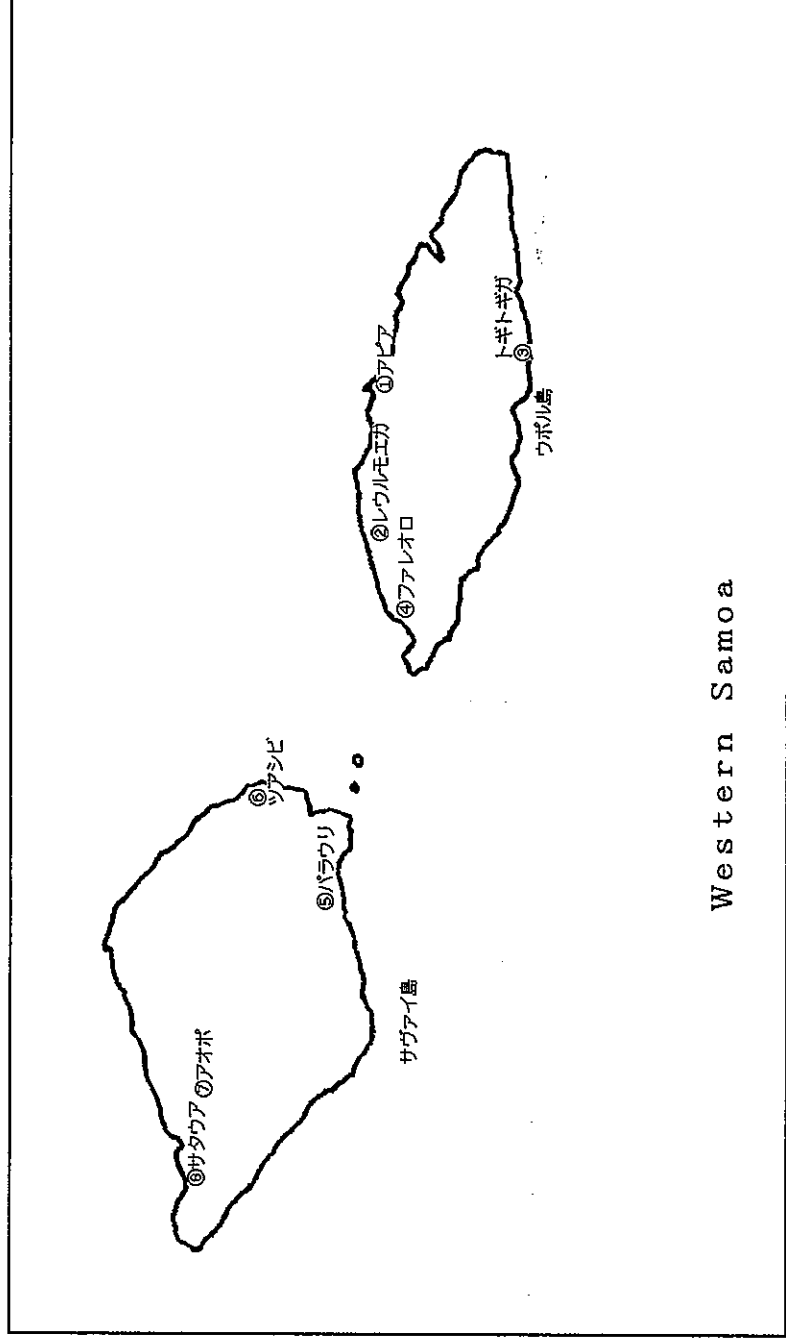
派遣中隊員数 28名 (13名)
派遣実績 248名 (35名)
() 内は女性

西サモア隊員配置図

平成7年 1月 1日

西サモア事務所
派遣中隊員 28名
(男子15名・女子13名)

23名		1名	
①APIA (アピア)	950712	②LEULUMOEFA (レウラムエファ)	950807
04/1 小林直美	植物学	03/3 永井清志	数学教師
04/1 毛利雅伸	無線通信機	③TUGITUGIGA (トゥギトギガ)	0名
04/2 松本宏子	臨床検査技師	④FALEOLO (ファレオロ)	0名
04/3 青木和彦	電話線路	⑤PALAULI (パラウリ)	3名
04/3 児玉進一	土木施行	04/3 片桐敏行	工作機械
04/3 吉田知恵	音楽	05/2 岩井美紀	家政
04/3 吉田智美	助産婦	05/3 浅木浩文	技術科教師
05/1 諸岡政洋	電気機器	⑥TUASIVI (ツアシビ)	0名
05/2 内館欣生	獣医	⑦AOPU (アオプ)	0名
05/2 久芳尚子	看護	⑧SATAUA (サタウア)	1名
05/2 猶克実	建築構造計算	05/3 池田真由美	看護婦
05/3 植村和久	通信電力		
05/3 高橋信行	索道		
05/3 林本誠司	自動車整備		
05/3 森山昭彦	自動車整備		
06/1 安藤和行	土質検査		
06/1 佐藤敦子	幼稚園教師		
06/1 藤本早由合	幼児エンジヤ		
06/2 澤井慶太	音楽		
06/2 成田能暢	視聴覚教育		
06/2 大沢もとい	幼児エンジヤ		
06/2 土屋博美	看護		
06/2 坂本あかね	家政		



西サモア最新リポート

昭和62年2次隊

無線通信機

岩佐 孝一

空港には、以前と同じように溢れんばかりの人が、思い思いの場所で話をし、その間を子供たちが縫うように歩き回っている。私の乗ってきた便が折り返しアピア発、ニュージランド行きになるからであろう。駐車場には所狭しと車が並び、それらの間や、荷台では、横になっているものや話をして居るものがある。

空港を出てアピアに向かう。途中の道路は、二度の大きなハリケーン（オフア、バール）の被害からは完全に復旧され、なん箇所も断され海岸線が道路の山側まで来ていたなどと思いつくのを困難にさえしてしまふ。途中、ファレアシウでは、公衆電話のあった店が無くなり、その横に新しい無線中継所と交換局が出来ていた。市街に近づくころ左手に数件の店やが並ぶのが見えた。右手を見ると、バイリマの大きな文字が屋根に見えた。バイレの交差点である。この奥には、バイリマの他にロスマンズ、PWDのバイレ・ワークシヨップそして最近、矢崎がここに工場を開いたそうだ。開設当初は、労働条件をめぐるストがあつたそうだが、最終的には、マリエトワが仲裁にはいり、一見落着いたそうである。また、最近、バイレからアレイサにかけては住宅地になっていて、クウオータ・エーカー当たり20,000タラ前後で取り引きされているらしい。

このスリー・コーナーを過ぎしばらく行くと一際明るい教会が見えてきた。ペセガである。前方に青い光が見えた。信号機である。右に折れるとアウアラを抜けUSPへ出る。ここを真っすぐ進みバイモツソを直指して直進する。バイモツソのランナアバウトを直進し、朽ち果てたパームコートを手左に更に行くとまたしても信号機ある。目を凝らしてみると、左に行くと、移転したマッケンジーを越え、同じく、ビーチロードから移転したニュー・マケットに出る交差点である。もうしばらく直進し、ラロバエアのスリー・コーナーを左に曲がる。綺麗に舗装されたせいか以前よりも道路が広く感じられる。

このバエア通りの両側も何軒か新しい店が出来た様である。エース、BWS、マンダリン飯店は、昔の姿を残しているが、トレジャヤーガーデンは焼失しサバラ口に移転したそうである。赤で止まった信号機の左前方を見るとセントラルバンクの建物、しかし、入り口の看板には、サモア・トレデーイング・リミテッドと書かれている。左角には、緑と白で塗り分けられたロテマウ・アーケードが見える。一階には大きなショーウィンドウがあり、二階にはハナというレストランが入っているそうである。

目を前方に向けるとNFPのビルの右手、クロックタワーの更に右側、ゴールデン・ドラゴン飯店の後方に二つの大きな屋根が見えた。

クロックタワーのランナアバウトを右折するとエクイレム・エリアに二つの大きな建物

ができています。左側には、6～7階建て、右側は同じく6～7階建てで、屋上の中央部にはファレをかたどった屋根を配している。ビーチロードから70m程海側にあるので、その前は大きな駐車場となっている。以前、首相府前で行われていた国旗掲揚をこの広場で行い、合同庁舎であるこの建物の正門前にある大きなポールに国旗を掲揚し、駐車場から続く20数段の階段の上段にトヒラウ首相が立つのである。ブルーのユニフォームを着た曙クラスのサモアンが行進するのは壮観ではあるが、その間、相変わらずビーチロードの交通は止められてしまう。魔の通勤時間の8時である。

左側の建物には、セントラルバンクと大蔵省が入っており、2基のエレベーターがついている。ここから見る、ビーチロードから山側は以前と変わらず、BWSやポストオフィスが並ぶ。

ポストオフィスを通り、ムリバイのカソリックチャーチを過ぎると小さな橋の右側に「ICA & JOCV」オフィスが見えてくる。白亜の3階建ての建物で、一階は、車庫と道場、二階は、JOCV隊員用スペース、三階は、事務所として使用している。

事務所を過ぎると、右手には、ラズボート、オットーズリーフと続く。しかし、赤いタンク、青いシーートのホンダの姿は無い。

オットーズリーフ横の大きな空き地には、ハリケーンで壊された消防署の新築工事が行われている。このハリケーンは、建物だけでなく、ムリヌウからマタウツタイまで続くビーチロードをも破壊した。現在は、日本の援助による護岸工事が終了し、また、ココナッツ・ツリーへの植樹も終わり以前と変わらぬ風情をかもしている。イミグレと裁判所のスリーコーナーを右折すると、左右に警察署の建物が見える。

この道路をモトオウツツ方向に登って行くと、最初の十字路の信号機を過ぎると、旧事務所の建物が左手に見えアイスクリーム工場が、その反対側のコーナーには、#55が、回りは以前よりとても手入れをし、綺麗になっているが、その建たずまいはそのままである。右手に続くナショナル・ホスピタルは、化粧直しはされているが、以前と同じに見える。リーニンシヨップに入る角の葬儀屋は、火事で焼け、今は三階建ての大きな建物になった。この通りは、以前と同様、リーニンシヨップ、ガス・ステーションと続きクロス・アイランド・ロードへと抜ける。

突き当たりの、コーナー正面には、新しく建ったモデルが、また、左角には、八棟程の二階建てのバラギ・ファレとプールが綺麗にレイアウトされたタウンハウスがある。この道は、右へ行くとバイリマへと続き、左へ行くとビーチロードへと戻る。

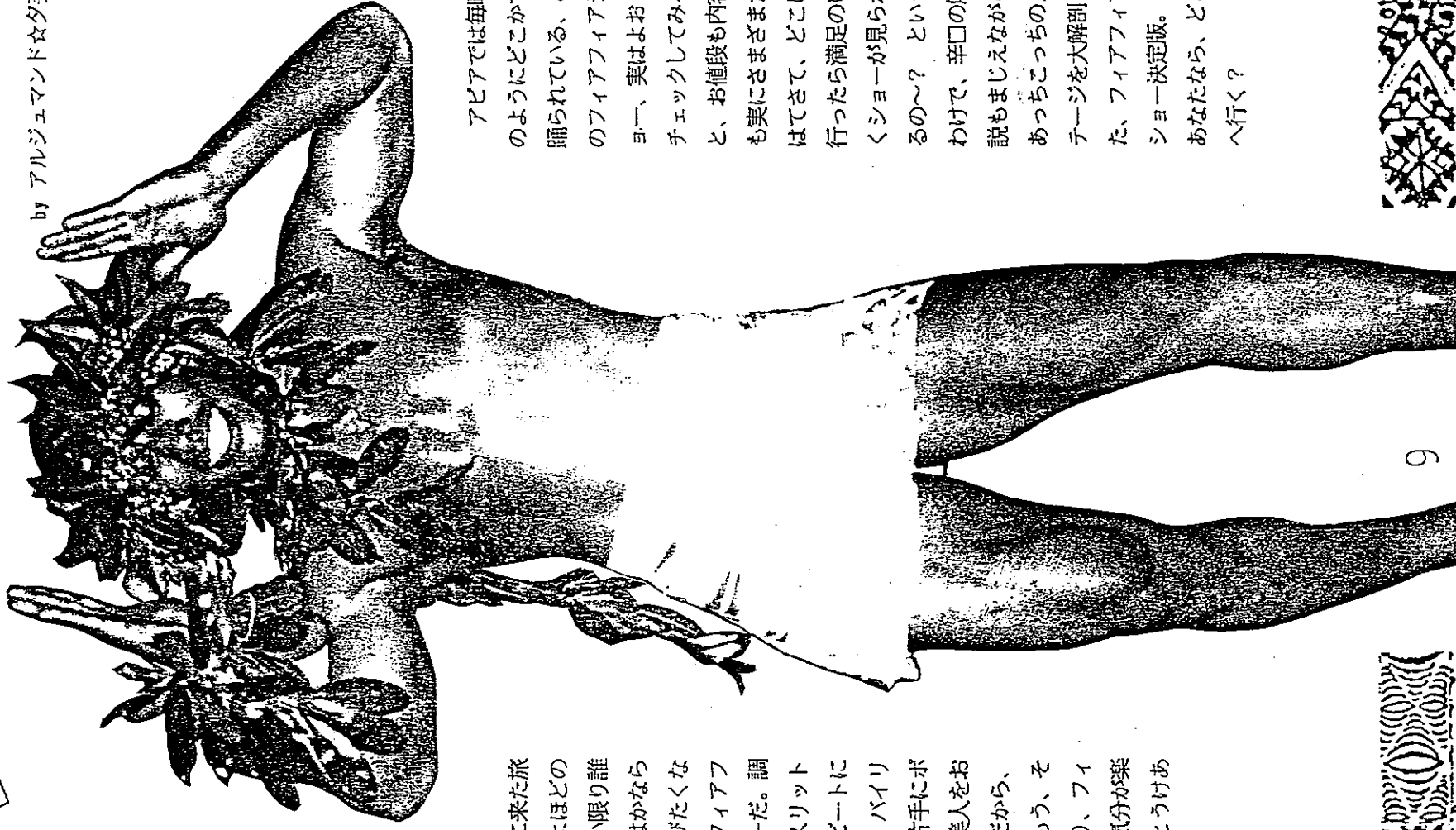
ここを少し下ると、右へ続くスリーコーナーである。右折すると、橋を渡りマギアギから遠くファガリイへ続く。左側には、完璧にリニューアルされた#53が見える。その向かいには、新増築されたシヨップが、見た目は新しくなったが、その配置は以前のままである。

更に下ると右手に、#21が見え、左手に、新築された、衛星地球局とワークシヨップが見える。EPC、アピア・インを右角に見て信号機を左折しニューマーケットに向かう。

特

ファイアショー 総ざらい

サモア名物



by アルジュマンド☆タ美

サモアに来た旅人なら、よほどの変人でない限り誰でも一度はかならず足を運びたくなくなるのが、ファイアショーだ。調子の良いスリットドラムのビートに身を任せ、バイリマビール片手にポリネシア美人をおがめるのだから、そりゃあもう、その名の通り、ファイア気分が楽しめることうけあい!!

アピアでは毎晩のようにどこかで踊られている、このファイアショー、実はよくチェックしてみると、お値段も内容も実にさまざまだ。はてさて、どこに行ったら満足のゆくショーが見られるの〜? というわけで、辛口の解説もまじえながら、あっちこっちのステージを大解剖した、ファイアショー決定版。あなたなら、どこへ行く?



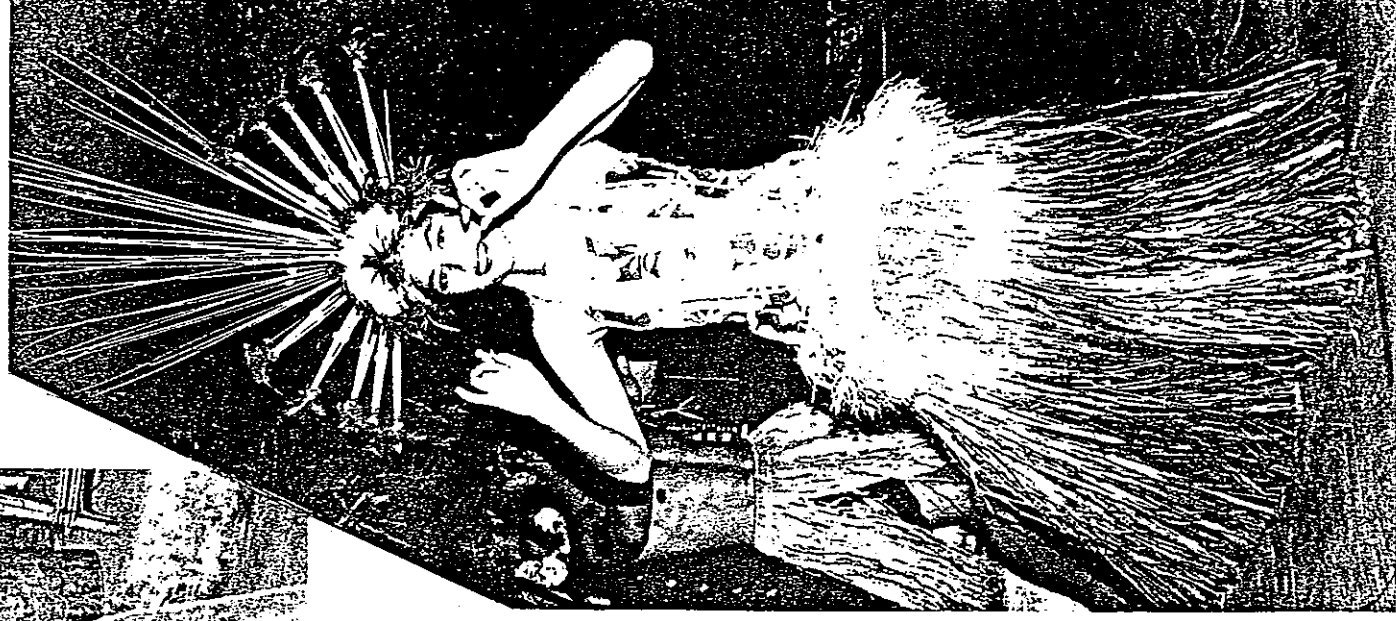
AH KAM

☆☆☆

Tuesday Night

PM7:00~ (ショーはPM9:00すぎ~) 30Tala (食事付き)

知る人ぞ知る、アーカムモータールの野外フロアで毎週火曜日に行われている。純サモア料理のバイキングを味わった後で、星空の下ショーを楽しむという趣向だ。静かだし、雰囲気もナカナカ『南国』していて、デートにはおあつらえ向き♡ ショーの前後は、生バンドのソフトなボーカルがグッとムードを盛りあげてくれる。ただショー自体は、ちょっとガッカリ。何だかまだ芸に余裕がないのだ。合間にお遊戯みたいな子供の出番があるのも、シロウトっぽくただだけない。中では、男性ダンサーが体を叩いて踊る、ボディタップダンス(?!?)みたいなのが面白かった。女性もルックスはナイスだから、場数を踏んで、名ダンサーに成長してほしいものだ。



Aggie Grey's Hotel ☆☆☆

----- Wednesday Night -----

PM7:00～ 40Tala (食料付き)

昨れの12月には衣装替えなんかもあり、結構楽しませてくれたが、この頃少し手放きの感がある。それでも、格式はツシタラより上とばかりに、オーブニングは客席からチャャホ、チャャホと歓声を上げながら登場するあたりは演出効果抜群。出演者も男10人、女10人、鳴物加名とステージいっぱい迫力もある。また、その口が誕生日の人には鳴物隊がまわりをぐるりと囲み、お祝いの歌をうたってくれたりもする。

エンディングの We are Samoa の合唱でサモアの国旗が広げられると、不思議と「サモアっていい国だなあ」「来て良かったなあ」と思わせてくれるのだ。その後、プールサイドでアッと言う間に終わってしまうファイヤーダンスを見て、ビュッフェ形式の食事となる。





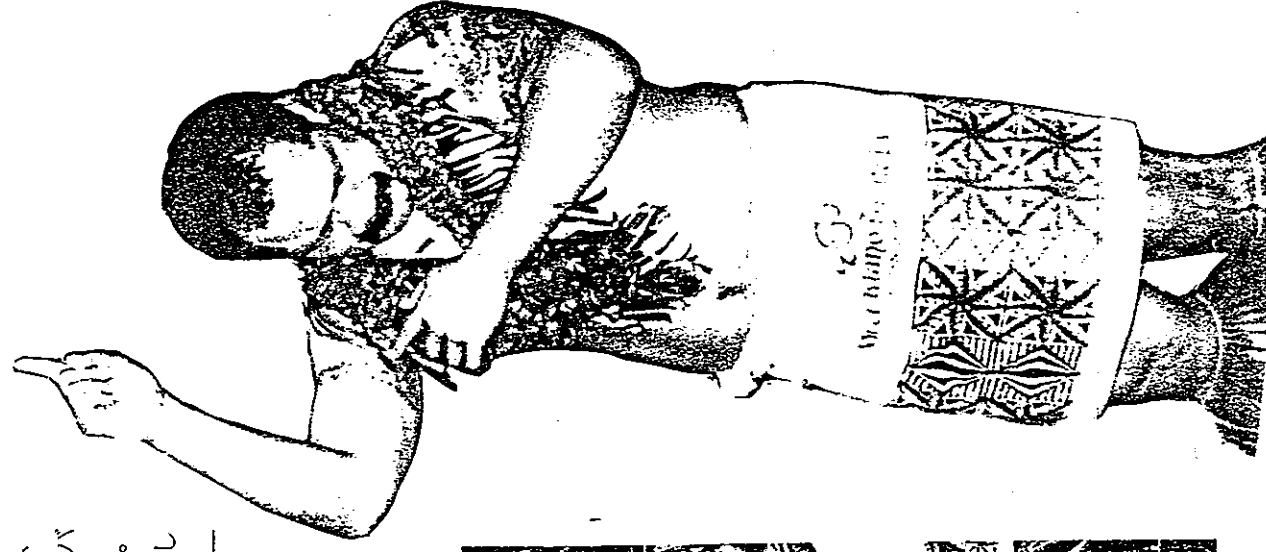
Hotel Kitano Tusitala ☆☆

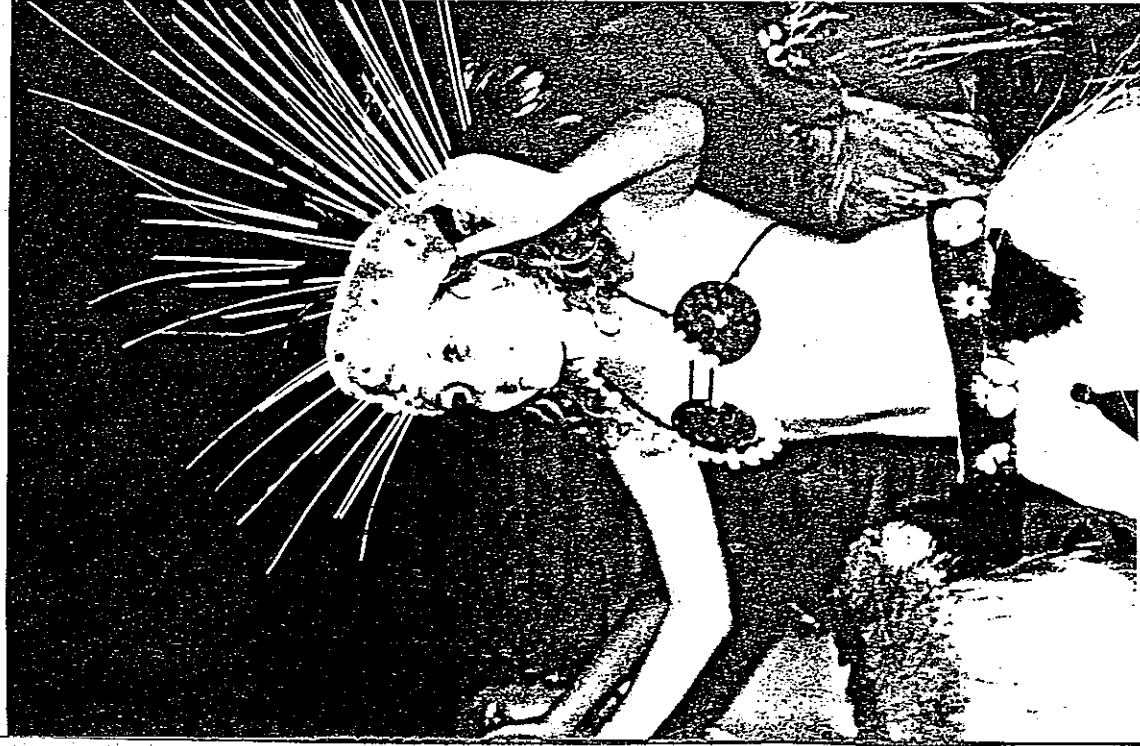
Thursday Night

PM7:00～ (シヨ一はPM8:00～) 45Tala (食事付き)

サモア最高級ホテルの中だけあって、お値段の方も格別高い。バイキングの食事が済んでからシヨ一になるが、ちょうど運悪く日本からの直行便客がおくよせて来ていたから人変だ。食べ物のカウンタ一にたどりつくまでに15分も並ばされたのにはウンザリした。

シヨ一の方は、出演者の人数がとにかく多い。それなのに、どういうわけか若い女の子が見あたらないのだ。居並ぶオバサンは、笑顔もいまいちお疲れ気味で、華やかさに欠ける。それに比べて男たちの方がずっと元気で魅力的だ。狂言回し役のおやじも、パワー全開で頑張っている。それでもステージにメリハリがないので、1時間以上も見続けると飽きてしまう。そんな中で、救いは、照明を落として見せるファイアーダンス。ものの5分位の出し物なのに、見ごたえがある。





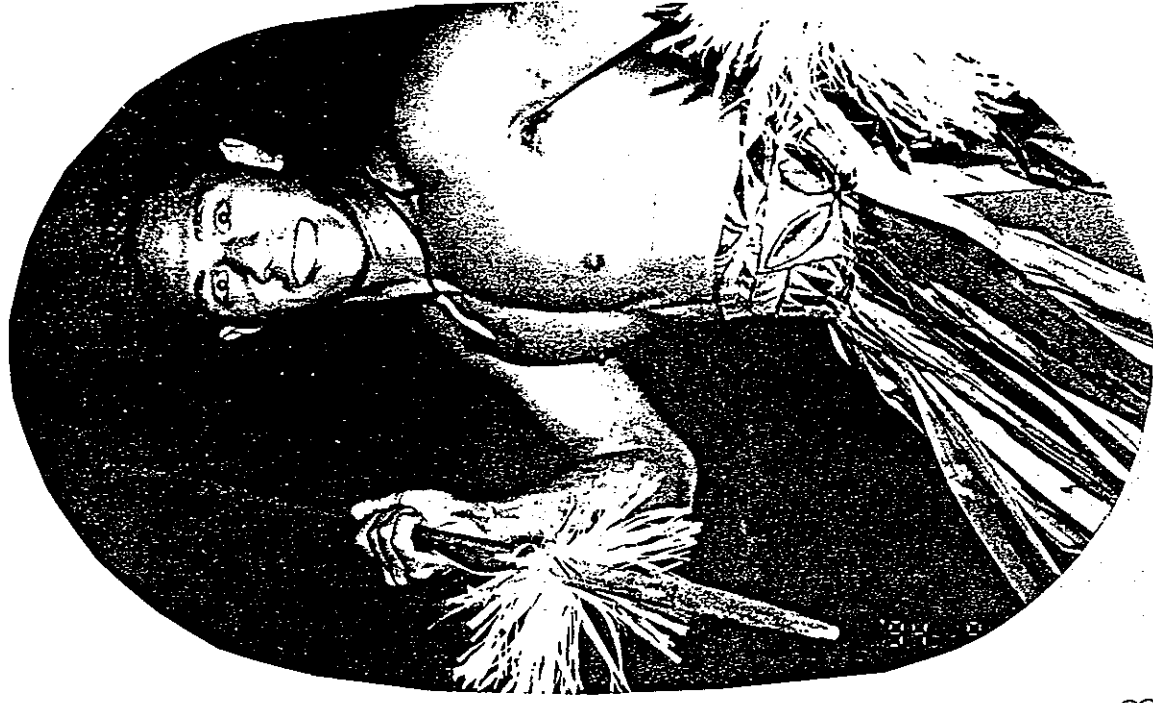
ミス・テウイラやドラッグクイーンを輩出している、フィアフィアショーの老舗格。この看板ダンサーは、と聞かれたら、まず真っ先にあげられるのがマルガリータとアギーの美少女姉妹だろう。でぶっちょのステージママが二人を鍛え上げ、ショーの振り付けも全部仕切っているという話だ。ポリネシアショーなので、太平洋全域の踊りが楽しめる。特に、男性ダンサーの「槍踊り」は迫力満点だ。物凄い形相で客を脅かしながら踊るのが、そのダンサーが昼間はなんと銀行員だというから尚更おかしい。

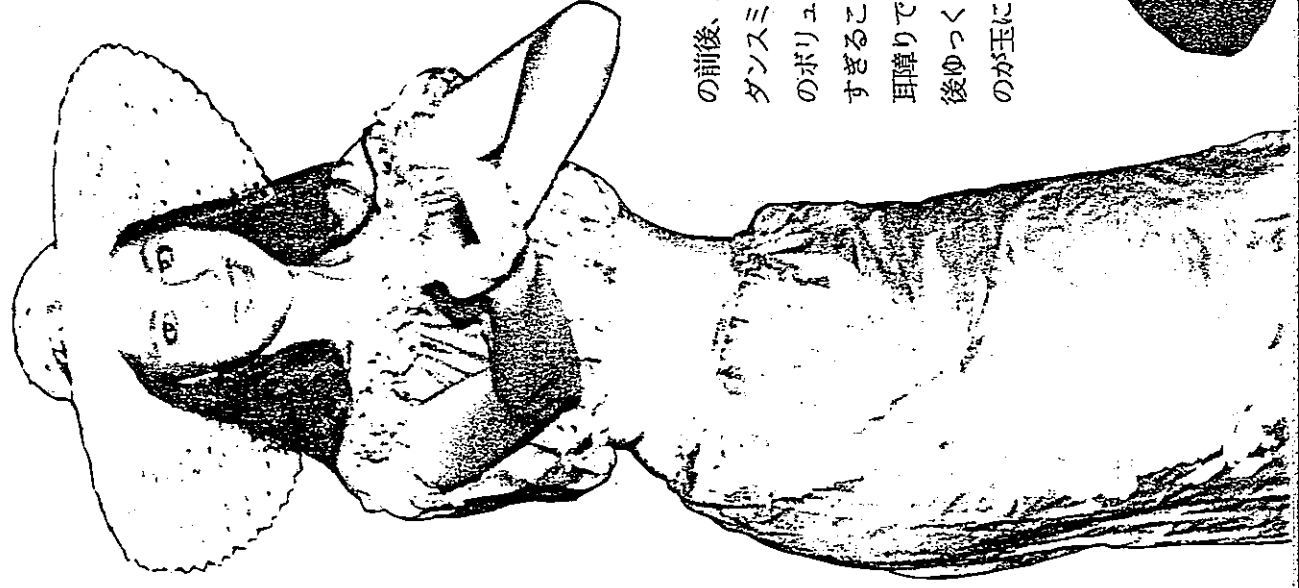
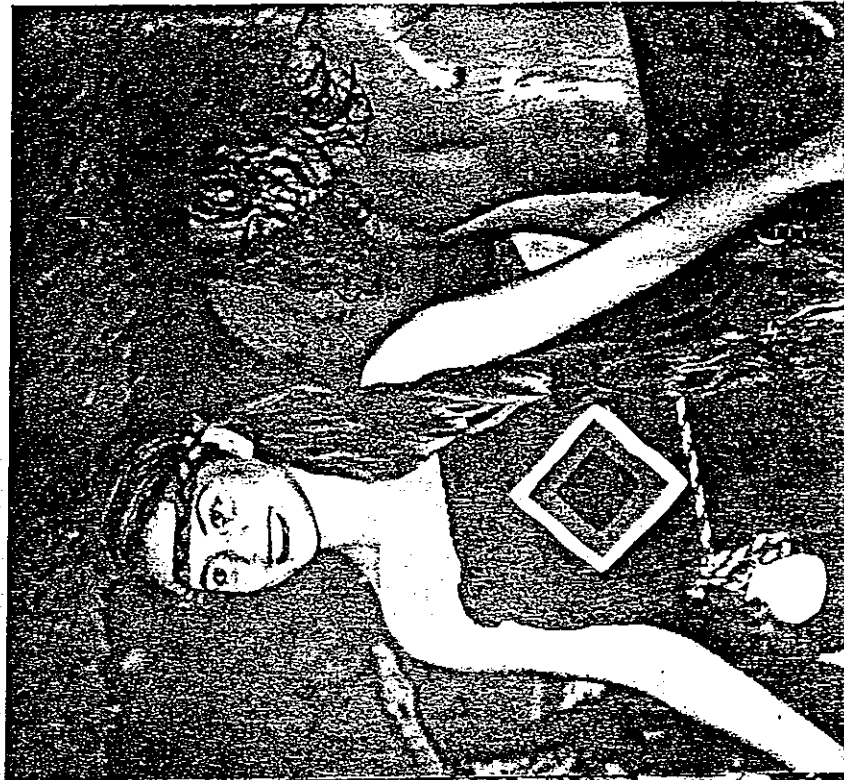
若年層の踊り子がそろっているのがこの強み。少女版ファイアードダンスなんという、ちょっと珍しい演目もあるから、ロリコン趣味の人は必見だろう。

プロフェッショナルな笑顔を見せるアギーちゃん

わずか13歳でミス・テウイラの

栄冠を手にしたマルガリータ (右端)





客を楽しむませようっていう芸人根性はなんと言ってもここが一番。ダンサー達は登場から踊りまくっているし、とにかく動きがめぐるしい。サモアシンバだけにとどまらず、タヒチやマウイの踊り、果てはスペイン風の怪しい民族衣装のシーンまで、七回も衣装替えてくれる大サービスぶりだ。効果にスモークを使ってみたり、凝ったステージングには、もう脱帽！

踊りのテクニクがどうこうという次元ではなく、新しい一大パフォーマンションとして存分に楽しもう。ダンサーも美形ぞろいなので、目の保養には最適だ。一つ欠点をあげるなら、ショー

の前後、店に流れる
 ダンスミュージック
 のボリュームが大きい
 すぎること。それが
 耳障りで、終わった
 後ゆっくりできない
 のが玉にキズだ。



風の 定食屋 さん

知ってると得する

～とおきのお店をあなたに Part II～

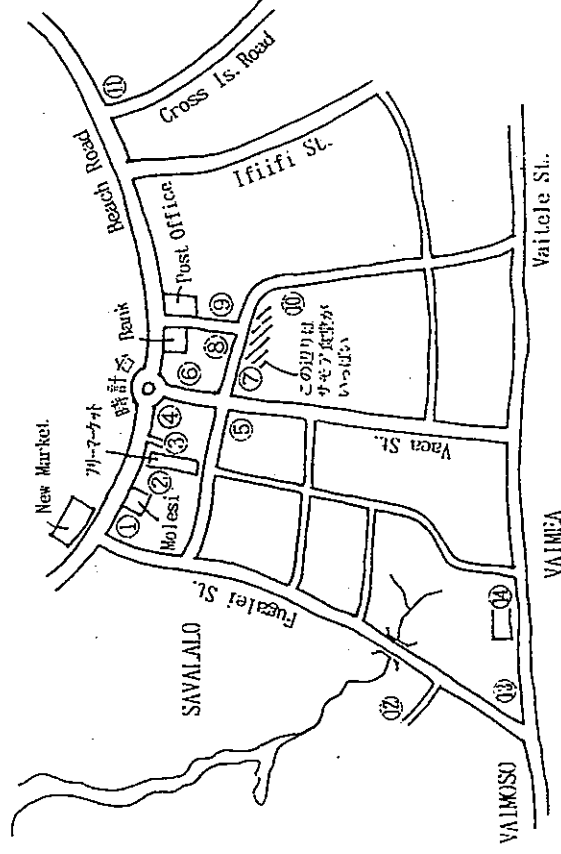
吉田 知恵



常夏のサモアの炎天下、仕事に精をだそうというのなら、まず、美味しい昼ごはんをたらふく食べるべし!! というわけで、前回好評をいただいた『食い物屋シリーズ』第二弾は、ズバリ、お屋の定食屋めぐり。サモアフードからハンバーガーまで、アピア中のめめしいランチ専門店を、ヒマと好奇心にまかせて徹底的に比較研究してみた。しかし、〈味覚〉はあくまでひとりひとりの主観にもとづくもの。本特集を固安に、最後はやはりあなた自身の舌で、屋メシ処No.1を判定してもらいたい。

いつもと違うエリアに足をのびしてみれば、今まで知らなかった、サモアの別の顔が見えてくるかもしれない……。

(※取材にあたっては、アピアブレイススポーツ促進委員会理事・松本嬢や、カメラを持つと使命感でおのれを失う小塚前編集長、ナイチンゲール毛利氏など、さまざまな方のご協力をいただいた。また、編集者にとっては《鬼門》と陰で噂されている筆者の特集記事に、初仕事でいきなり当たり当たってしまった自転車野郎・植村氏のご苦勞は計りしれない。ここに改めてお礼申し上げる次第である。)



- ① Le Rendenz Vouz
- ② Coffee'n'Things
- ③ Skippy's
- ④ Josie's Deli
- ⑤ LE MOANA CAFE
- ⑥ The Town Clock
- ⑦ Betty's
- ⑧ GOURMET SEAFOOD & GRILL
- ⑨ CHANG WAI Restaurant
- ⑩ CAM'S
- ⑪ Daphne's
- ⑫ Korcana
- ⑬ A&P Cain
- ⑭ Cafe Teuila

The Town Clock(RJ'sを改名)

営業時間

Mon-Fri AM 7:00~PM 8:00
Sat AM 7:00~PM 10:00
Sun PM 4:00~PM 9:00

グルメ度 ○
満腹度 ○
値段 ○
雰囲気 ○

その名の通り、クロックタワーの近くにあり、買い物が増えて

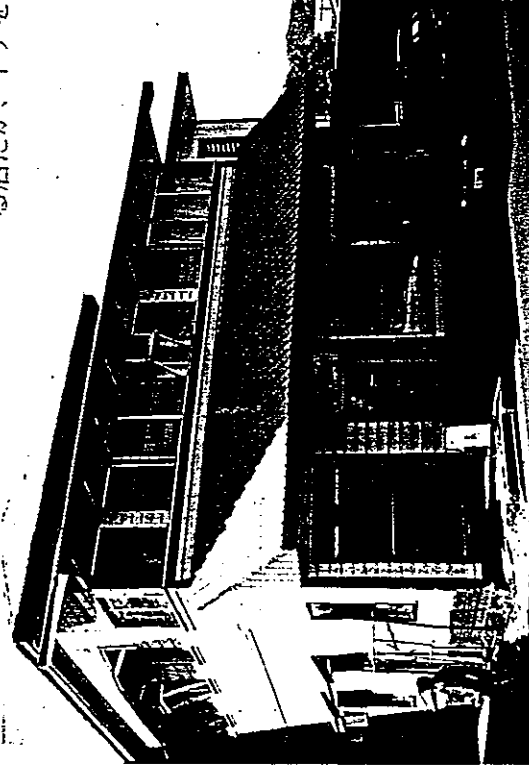
らのブレイクに手頃なお店。サモアでは数少ない、Coffee Shop 兼

バーラーといった風情で、朝はオムレツonトースト(4.97) などト

ースト類、昼はハンバーガー&チップス(7.77)やバナナスプリット(4.97) など

(3.87)午後にはアイスクリームサンデー(4.97)やバナナスプリット(4.97)etcという具合に、用途に応じて使い分けるとグッド。自家製パンがご自慢のこの店では、特にハム&チーズサンド(4.97)が美味しい。軽い昼食にピッタリだ。パイ(4.97)もお勧め。ステーキ&キドニー、チキン&野菜など5種類ある。なお、このFish&Chips(7.77)は、あのクレームの女王でさえうなずいたというお墨付き。薄い衣とスバイシーな味つけで、他の店と大きく差をつける。

食後にはコーヒー(1.67)もあるが、他の店では味わえないココ・サモアを是非注文しよう。ドリンク類はすべておかわりOKだ。また、デザートパイも女性に人気が高い。カスタード地にフルーツが入り、メレンゲで仕上げた上品な味。ピーズ売りだが、頼めばLarge(187)やSpecial large(367)も特注できる。さらに耳よりなのは日曜夜のSunday Special(1107)の週替わりメニューで、肉、ポテト、温野菜などがついて、ディナーに最適。なお、このソフトクリームは、店内で頼むと外のスタンド(1.17)より割引になるので、最後におもてで注文したほうがベター。ゆっくりくつろげる店だが、ドアを開けきっているのどやや暑いのが難点ではある。



Josie's Deli

グルメ度 ○
満腹度 ○
値段 ○
雰囲気 △

クロックタワーの角に立つビルの一階。内側なので窓が無く、地下街のようなうす暗い店内。密会向きといえそう。テブ

ルも6卓しかなく、一見カフェのようだが、アラカルトから軽食まで幅広くカバーしている穴場。値段のほうも良心的だ。日替りスペシャルのRoast Chicken(5.57)は、サラダ2種(ポト&グリーン)がつき、コッデリして美味しい。定番メニューのチキンスーブは、鳥も肉にキャベツが入って栄養満点! また“Chinese Fry(37)”とは、青梗菜・カボチャ・ビーフetc.をいっしょくたに炒め、インスタントラーメンの切りはしも見え隠れする風変わりな中華料理で、ライスかバナナがつく。この他、卵サンド(2.87)やスコーン(50セネ)、レーズンマフィン(50セネ)にバナナケーキ(17)などもあり、ティーサロンとして利用してもOK。朝食メニューも用意され、フレンチトーストやスクランブルエッグonトースト、ハム&チーズオムレツ等々、メニュー選びに夢が広がる。

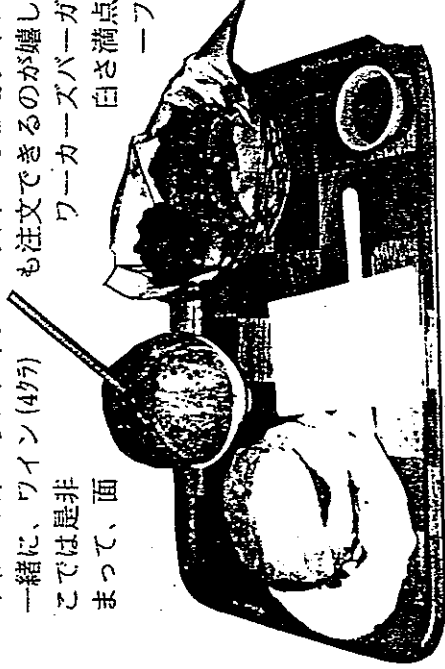


GOURMET SEAFOOD AND GRILL

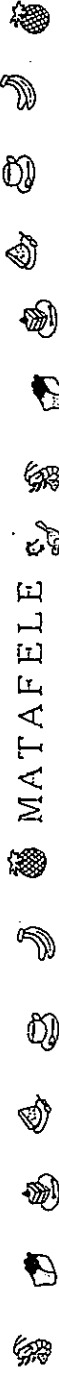
営業時間
AM 7:00~PM 9:30

△ グルメ度
○ 満腹度
△ 値段
○ 雰囲気

アビアのランドマーク、ポストオフィスと銀行の裏側にあり、屋どきはいつも大繁盛。夜までの営業なので、時間をずらしたほうがゆっくりできる。店内はマリクラブ風の趣き。ファーストフード主体だが、新たにステーキやサモアフードのコーナーができ、T-Boneステーキ (23タ) やサーロインステーキ (18.5タ) から、チャブ スイ・BBQチキン・オカ (各2.5タ) まで、幅広く揃えている。肉料理と一緒に、ワイン (4タ) も注文できるのが嬉しい。ハンバーガー類も種類が豊富 (5.5タ〜) だが、ここでは是非
まあって、面



ワーカーズバーガー (10タ) にチャレンジ! 何だかんだゴツチャリはさ白さ満点だ。さて、こここの迷物>は、看板にもなっている“シーフード”と名のつくものにはことごとくムール貝とカニカマが登場する。また、サイドオードーグーにあるCrah stickも、正真正銘、れっきとしたカニカマだ。これを知らずに注文すると、四方八方カニカマ攻め! という悲劇に陥ってしまうので注意しよう。また、このレモンバイ (2.5タ) は幻の逸品。美味しいと噂に高いが、いつ行っても品切れで、筆者はまだ一度も口にすることがない。



MATAFELE

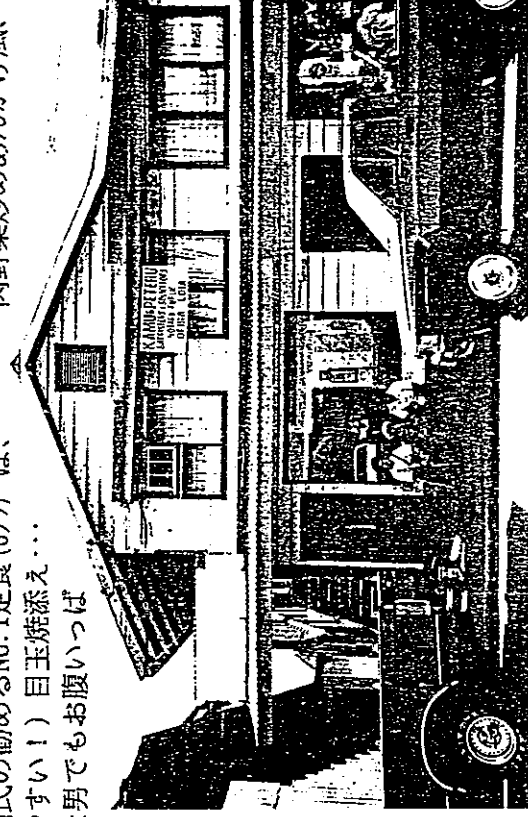
CHANG WAI Restaurant

○ グルメ度
○ 満腹度
○ 値段
○ 雰囲気



ポストオフィスの裏手、CCK DownTown店のはす向かいにあるサモア料理屋。建物には『Kamu&Peteru』の看板があるが、それは2階のことでこの店とは関係がない。従業員に尋いてやると名前がわかった。オーナーはHalf Chineseという話だ。リーズナブルな定食屋なので、お昼に近所で働くサモア人でごったがえしているが、1時ちょっと前になると急にガラんと空いてしまう。メニューは10種類。奥のカウンターで注文し、自分で席まで運ぶ。お値段は3.5~6タと、とってもチープ。諸岡氏の勧めNo.1定食 (5タ) は、チャブスイ、ステーキ (薄いが食べやすい!) 目玉焼添え...
肉野菜炒めあなかけ風、

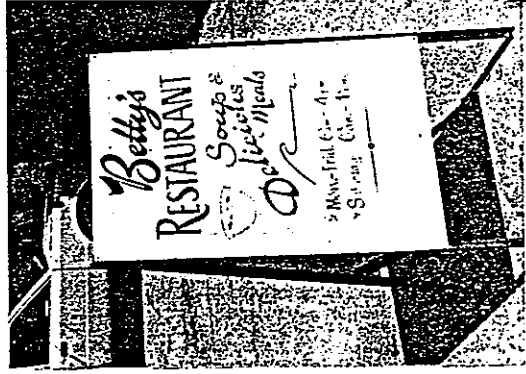
いになること間違いない。チキンカレー (4タ) も、ジャガイモやにんじめんが入り、スパイシーでどこのサモア料理店より美味しいが、日によってライスがなく、サモアパンバナナで我慢しなければならないのは減点。ドリンク類は、右隣の売店で買って持ちこめる。コーラ大 (2タ) やNiu (1.4タ) があり、Niuは大きさに比べて値段が変動するらしい。



Betty's

○ グルメ度
○ 満腹度
○ 値段
× 雰囲気

初めて信号機のついた交差点の角にある、サモア料理店。店内をちよと覗いただけで、サモア人の熱気に圧倒されてしまい、踏みこむのに勇氣があるが、それだけの価値アリだ。定食メニューは14種。発泡スチロールの皿に赤マジックで内容がこまごまと記され、壁に所狭しと貼ってある。ひとつひとつゆっくり吟味して決めたいところだが、後にひかえる客に気がねしてなかなかそうできないのが残念だ。定食類は4〜6タが標準だが、よく見るとT-Boneステーキ(9.9タ)は、などもあり、総じて安い。ミンスステーキとポテトサラダ定食(5タ)は、他に、肉と野菜類をいためたおかずがつき、質・量ともに満足できる。また、スープ(5タ)は牛骨とカボチャが中華どんぶりにドカドカ入り、旨味が効いた一品。2人以上でわかるのが正解だ。カレー(3タ)もあるが、パ



ンチに欠け、あまりお勧めできない。とにかく暑いので、満席でも回転が早く、スグすわれるのがこの店の特徴だろう。



CAM'S

○ グルメ度
○ 満腹度
○ 値段
○ 雰囲気

営業時間

AM 7:00~PM 9:00



LE MOANA CAFE

○ グルメ度
○ 満腹度
× 値段
○ 雰囲気

『アピアの自由ヶ丘』とも呼ばれ、サモアらしからぬムードが売りのLotemau Center内にある。エアコンの効いた店内は禁煙席のみ。サンルーフつきの戸外なら煙草もOKだ。特に凝った内装ではないが、新しいだけにきれいだし、プレタシ姿の女性が接客してくれる。そうした場所柄が、メニューのほうはかなり高め。カフェテリア形式だからといって、学食のごとくホイホイとショウケースの軽食やデザートをとレイにのっけてしまうと、べらぼうな金額を支払うハメになる。ホワイトボードに掲げられたランチも、単品で10〜15タ。カレーやチキン料理など日替りだが、大抵2種類なので、チョイスの幅も狭い。とはいえ、ハーブティー(1.5タ)やカプチーノ(3タ)など、珍しいドリンクもあるから、ゆったりとリッチにランチを楽しみたいときに利用してみてもいい。バラギの客が多いのも頷ける。余談だが、入口の扉はかなりヘビィ。できることならエースコート役を連れてゆくと重宝である。

カトリックチャーチの裏側、Feiloaimauso Hallの向かいにある。ファレを改造したような建物は、壁の部分が僅かなので、明るく、風通し抜群だが、反面、店の前をトラックが走りぬけたりすると、チリやホコリがぶわっとまいあがり、すぐテーブルがザラザラになってしまう。定食屋と喫茶店の中間的存在で、サモア料理と軽食スナックの両方が味わえる。中華風炒め(肉、キュウリ、にんじん、いんげんが入ったおなじみのアレ)、チキンカレー(汁が少ないのが特徴)、チャプスイ(キャベツ、肉入り)、チキンレンジなどがどれも2.5タ。サンドウィッチ(1切1.2タ)はソーセイ、野菜、ツナがはさまった家庭的な味だ。なお、ハンバーガー類(5.5タ〜)はサモアではここが一番、という極秘情報を耳にした。ジャンクフード派なら一度は試してみるべきだろう。Fish&Chips(5タ)もある。



Le Rendenz Vouz (ランデヴー)

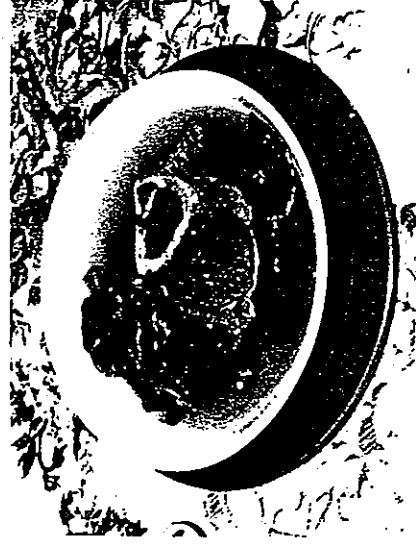
営業時間

Mon-Thu AM 7:00~PM 10:00

Fri-Sat AM 7:00~AM 1:00

グルメ度
満腹度
価値段
雰朝気ム

モレシのならびに最近お目見えした飲食店。美しい名前とは裏腹に、白い壁に蛍光灯、事務机みたいな長テーブルに小学校の椅子が堂々と置いてある。内装については、まだまだ改善の余地アリだ。お昼の定食セット(599)は、野菜炒め&チキンカレーライスと、カレーのかわりにチャプスライがでる2種類だ。野菜炒めは、インゲンや人参が色どりがよく、食欲をそそる。単品のBeef Soup(6.599)は、高いがス



テーキ状の厚い肉がドッカーリ入り、具沢山で大満足だ。今月からはじまったディナーメニューの中華(8.5~12.599)を、お昼に注文することもある。台湾人から手ほどきを受けたという、調理人の腕前に期待したい。他にもトーストサンド(2~4.599)やチキン&チップス(5.599)、などのメニューがある。なおテイクアウト用のココナッツクッキー(袋入599)は、「おいしい...!」と池田女史が絶句したといういわくつき。コーヒーはインスタントなので、今後の成長がとお勧め。オープンして間もない店なので、今後の成長ぶりが大いに気になる、注目株だ。

西サモア中華料理今昔物語

飲みかけの Niu と原稿の束を目の前にして、ぼおっと一人で座っていたら、ここで働く40才がらみの女性が話しかけてきた。彼女の名はMrs. Sene Wei。見たところ典型的なサモア人だが、聞くとドイツ系の血も混ざっているという。パゴ育ちの彼女は1980年頃西サモアに渡ってきて、ここで知り合った台湾人Mr. Shuan Weiと結婚した。ウェイ氏は当時サモアにひとつかなかった中華料理屋、Jade Gardenの料理人として腕をふるっていたそう。その後、Wei's Restaurantと名を変えてからも、彼らの店はいつも邦人たち(おそらくは当時の隊員たち)で賑わっていたらしい。

「Japanese Friendは沢山いるのよ。」と懐しそうに語り続けるウェイ夫人。

1987年に夫婦はパゴへ渡ったが、現在営業しているカントンもトレジャーマもサンライズも、もともとはウェイ氏の下で働いていた中国人たちが、ウェイ氏の去った後で独自に開業したものだという。残念ながら、その後ウェイ氏は故郷・台湾でなくなったが、未亡人となった彼女が、再び西サモアに戻ってきて、「ランデヴー」でコックしているという、まことに長〜い身の上話。わざわざ店の奥から、当時のメニューを持ちだしてきて大切にしている

せてくれた。

この話がすべて実話なら、サモアにおける中華料理屋のルーツが明らかになるわけ、本当に興味深い。ウェイ氏の忘れ形見でもある子供たち(half Chinese)が、将来、中華レストランを開業するのが彼女の夢だそう。

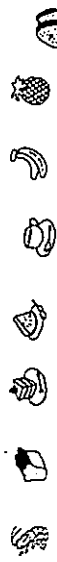


Coffee 'N' Things (Carol'n Markを改名)

グルメ度 △
満腹度 ○
値 段 △
雰囲気 ○

フリーマーケットの隣にある小粋なカフェ。店全体に、売り物でもあるカラフルなレディスウェアや布地が飾られていて、乙女心をくすぐられる。あの長縄長老が、隊員時代“サモアの竹下通り”と名づけて頻繁に利用していたことでも知られている。と、ここまで書いていたら、目の前でバラギの女性オーナーが物乞いのおやじにガーリックブレッドを与えている。う〜む。お洒落なお店だと思っていたが、屋どやっぱりサモアだ。さて、メニューはバイ(4タ) やサンドウィッチ(4.5タ) など軽食が中心だが、屋ど

きにはToday's Special も登場する。
何種類もの野菜を煮込んだスープ(3.3タ) は、バジルの風味もかすかに香り、コクがあってGood! と藤本嬢も絶賛。
Garlic Breadと一緒にいただく。ボリユームのある食事を、という向きにはスバゲッティーポロネーズ(6タ) やグラタンがお勧め。チキン&パイアサラダも美味しい。ランチ以外にも、各種ケーキ(3タ) やデニッシュ、ドーナツetc. といろいろあるから、パラギ客のようにアフタヌーンティーに立ち寄るのも良さそう。また、土曜日の午前中だけの限定メニュー・ワッフル(4.5タ) はあまりにも有名。それがお目当てでわざわざ足を運ぶ客も多い。



Skippy's

グルメ度 △
満腹度 ○
値 段 ○
雰囲気 ○

営業時間

AM 7:00~PM 8:30



フリーマーケット左隣の袋小路の階上にある。がらんとしたスクエアな店内には、正方形のテーブルが16ヶ、縦横にきちっと並び、オーナー氏の几帳面さがうかがえる。店内のどこにもメニューらしき物は見当たらず、初めてだとして注文するか戸惑うが、ウェイトレスがちゃんと席までメニューを持ってきてくれるのでご安心を。この売れスジはFish&Chips(4.3タ)。Fishのかわりにチキン(3.9

タ) やソーセージ(3.9タ)を注文することもできる。最も高価なメニューがデリヤキスデューキ with Egg&Chips(5.9タ)だ。焼き具合を尋ねられるが、“レア”と頼んでもシッカリ焼かれた薄〜い肉が登場する。(上に載った目玉焼きはレアだが。)ここでウェルダン頼むと一体どうなるか見ものだ。Chipsは、油でしんなりして歯ごたえナシ。コーヒー(1.1タ) もインスタントである。他にはハンバーガー(3.5タ〜) 類があり、どれもお値段はチープなせい、サモアのヤングには結構ウケが良い。



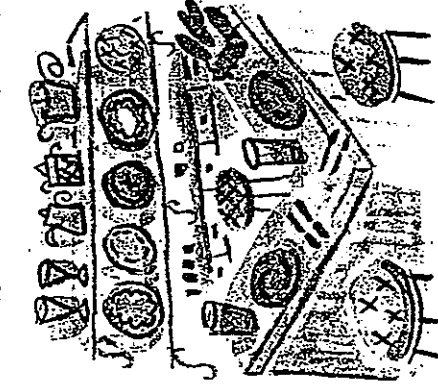
Daphne's (COFFEE SHOP)

営業時間

Mon-Sat AM 7:00~PM 4:30

グルメ度
満腹度
値段
雰囲気

アビアインの下にある高級喫茶店。明るい店内は窓を取り外したアブナイ扇風機がまわっていて、しごく快適。さて、運ばれてきたメニエーリストを見ると、いろいろありそうである。中でも卵料理には力を入れているらしく、スクランブルエッグ(1.1クワ)やオムレツ(卵3ヶ使用。8クワ〜)がズラッと並んでいる。Ultimate Omelette(14クワ)は、きのこ、ベーコン、ソーセージ、トマト、チーズetc.が入った豪華版。コールスローとトーストつきなので、ランチにも向く。サンドウィッチ類(5.5クワ〜)も豊富。焼きサンド(7〜8クワ)や、チーズ・ターキー・ベーコンを3枚のパンにはさんだClub Sand(10クワ)などがある。また、2種類あるサラダは、サモアでは珍しい存在だ。ツナサラダ(9.9クワ)は、半分にスライスしたパイアorアボガドの上に、

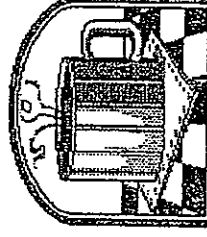


パイナップルと一緒に盛られて出てくる。この他、ターキー(3クワ)やコーヒー(1クワ)など、洋食づくしのメニューの中に、日替りのラーメン定食(ライス+スープ+7クワ)があるのは、何とも不思議だ。

Cafe Teuila

グルメ度
満腹度
値段
雰囲気

長屋風ショピングアケードの一面にあるカフェ。メンズウェアやイタリアメイドの靴も店内で売られていて、本業の片手間に経営しているフシがある。フリーマーケットにあるCoffee'n'Thingsと同系列の店らしい。今回訪れたときはベストリーのみだったが、日によってケーキやクッキーがショウケースに並ぶこともある。ランチには少々物足りないが、コーヒー(1.1クワ)と菓子パンでちょっと一息つくにはほどよいスペースだ。ラロバエア方面に出かけた折りに立ち寄ってみては?



A&P Cain

営業時間

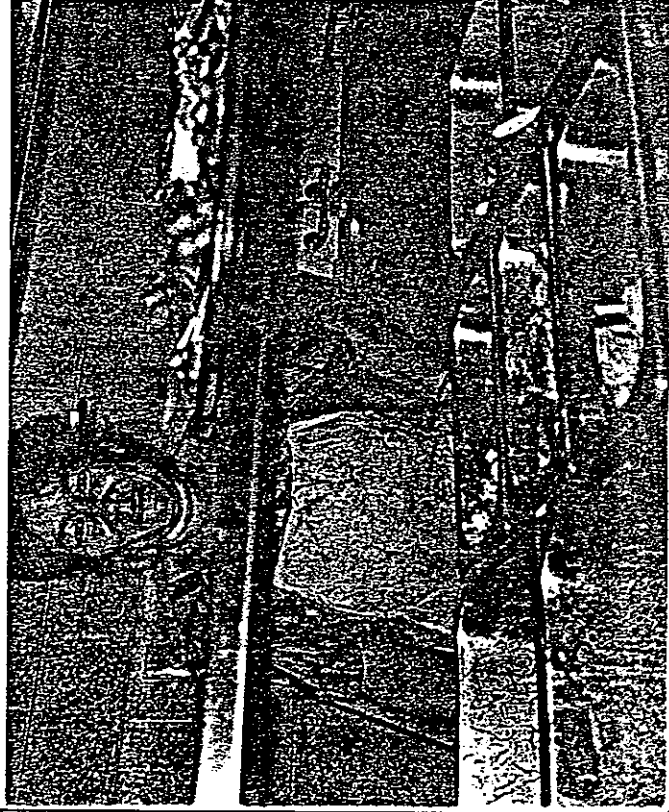
Mon-Sat

AM 8:00~PM 4:00

グルメ度
満腹度
値段
雰囲気

アビア中心部からやや離れているせいで、馴染み薄いが、サモア人の間ではなかなか評判がよいサモアレストラン。看板は特にないが、2人の経営者、AugustとPaulineの名がそのまま店のニックネームになっている。

Take Away の利用客も多く、カウンタ―前は人だかりだが、店内は比較的空いていて、落着いて食事できる。人気のスープ(3クワ)は牛のガラでじっくり煮こんだ本格派。別皿にホネが盛られて出てくるので、心ゆくまでしゃぶり尽くそう。定食はチャップスイ・マモエカレー・ツナのココナッツあえ(各1クワ)などがカウンタ―に並べられ、自分の目で好きなおかずをチョイスできる。盛りつける器もサモアにしてはオシャレ。カウンタ―奥にかいま見えるキッチンもこぎれいで好感がもてる。但し、このFish&Chips(3.5クワ)は衣が堅くてイカン!とクレームの女王からの警告をいただいた。なお、コーヒーは超アメリカンだが、わずか60セで飲めるのは破格といえよう。

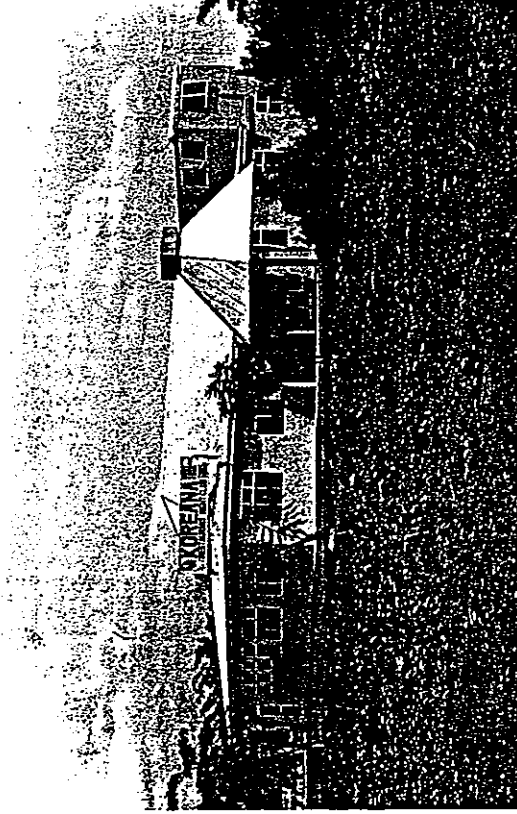


Koreana Restaurant & Night Club

○ グルメ度
○ 満腹度
× 価値
○ 雰囲気

本特集の取材中、オープンしたサ

モア初の韓国レストラン。ディナー
がメインだが、ランチタイムも営業
していると聞きつけ、早速出かけて
みた。前評判どおり韓国料理屋らし
いメニューはあまりないので、こま
かいことは気にせず、『東アジア料
理』ぐらいに思っていた方が無難だ。
街の中心からだいぶ離れているので、
タクシーでないと不便。表通りに着
板が出ているので場所はすぐわかる。
サフラン色の四角い建物の中はただ



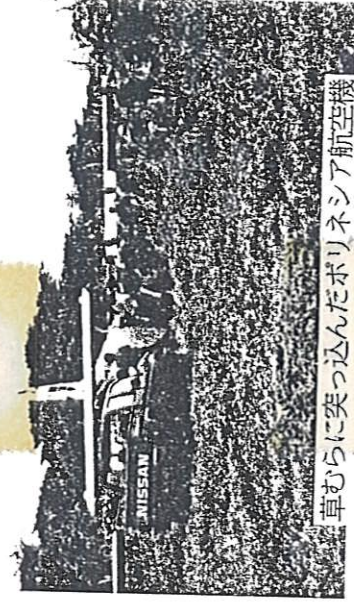
っ広く、100席は余裕でありそう。スチーシ（夜はビデオクリップが流れると言う）や照明機材も完備
され、なるほど、ナイトクラブらしい内装。しかし、キンキラキンの時計やジャラした天井飾り
はいかにも成金趣味。さらに大きな扇やタペストリーなど、一貫性を欠いたデコレーションで黄色い壁
がうずめられ、まことに怪しい“東アジア”的な雰囲気をかもし出している。さて、メニューをひらげ
ると、何と、期待していた屋の定食がない！ ディナーと同じ内容で、昼ご飯に大枚をはたきことになる
った。スープだけで18種類もあり、Saimini Soup (6タ) からSeafood Soup (50タ)まで、ピンキリだ。前
者だけを単品でオーダーすれば、定食屋と大差なくランチをすませることもできる(?)。キムチスープ(11タ
う)は、青梗菜、肉ダンゴなどが入った辛口。頼めば豆腐を具に加えてくれる。気になる焼き肉メニュー
は、わずか2種。Beef Short-Rib B.B.Q. (20タ) は骨つき肉を甘めのタレにつけ、焼いて出てくる。味
はイケルのだが、肉にスジがあり、どうしても噛みきれない。他にはChicken Korean B.B.Q. (15タ) な
んていう変りダネもあった。その他のメニューはもっぱら中華風。Steam Shrimp (30タ)は高いが見るか
らに美味しそう。タコと野菜炒め(15タ)もたべやすい一品。Fried Rice (10〜13タ) は7種類ラインナ
ップされているが、ごはんがベチョベチョで美味しくない、と利用者の弁。頼むなら、銀の器に入って
登場する白飯(1タ)か、巻き寿司(15タ)がさっぱりしてベター。なお、特筆すべきはキムチ(2タ)。じゃ
がいも、豆など、我々のイメージする“キムチ”という言葉の概念を大きく覆すような珍品が5種類も
登場するが、これもアジア風おかずと考えれば、安いしおいしくごはんがいただける。キムチ&ご飯定
食で3タ、なんというのが可能ならランチにもってこいなのだが…。とにかくメニューの数だけは豊富な
ので、いろいろ試せば知られざる名菜を発見できる、という可能性に期待したい。

★焼肉専門店のファレも近々オープン
の予定?! 噂とは、アビアのウラ筋に精通
している高橋氏の証言。待ち遠しいっ!!



某社のパンフレットに「創業以来無事故を誇るポリネシア航空」云々と書いてあったのですが、ここだけの話、僕はこの宣伝文句をあまり信用していませんでした。というのは、今年（編集部注一昨年の94年）の4月に我が家の近くにありガリイ空港で離陸に失敗して草むらに突っ込んでいる所をしっかりと見ています。どうも、全体としてそれほどひどい運命を辿っているとは思えないのです。運行に遅れがでるのはよっぽうで、時には出発を早めてしまいう事もあります。この為空港に着いたら既に飛行機は出発した後、仕方なく旅程を延ばした、なんて話もあります。まあそれもサモア流と思えばなんと事ないのですが、多くの日本人には概して評判が良いとは言えないようです。そのポリネシア航空機が、9月

13日に胴体着陸を行い、ちよっとした大騒ぎになりました。初めにこの話を僕に持ち込んだサモア人によれば、「トンガからの密航者が車輪にしがみついていた為事故になり、飛行機は胴体着陸、密航者も死んだ」との事だったので「アツハツハ、そんな馬鹿な！」と一笑に伏してしまっただけですが、その夜ラジオを聞いてみると、確かに飛行機事故のニュースを伝えています。翌日の新聞で更に確かめ、更に確かめてみると、密航者が車輪の格納部に身を潜



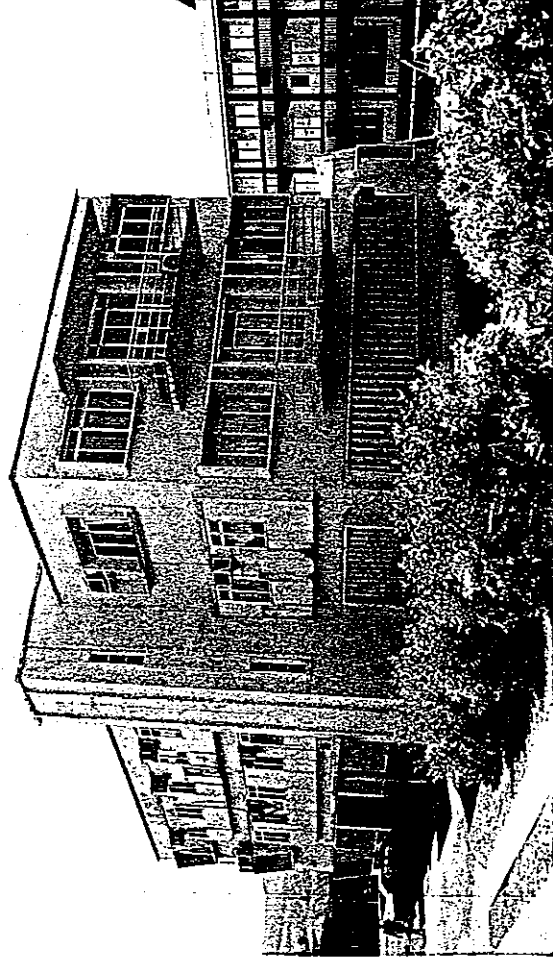
草むらに突っ込んだポリネシア航空機

め、当然の事ながら酸素不足と低温で死亡、その死体が引かかって車輪が出なかった為胴体着陸を行った、オーストラリアの管制塔と連絡をとりながら指示を受け、飛行場上空で旋回、燃料を減らした上で着陸する、等それなりの対応をとったようです。

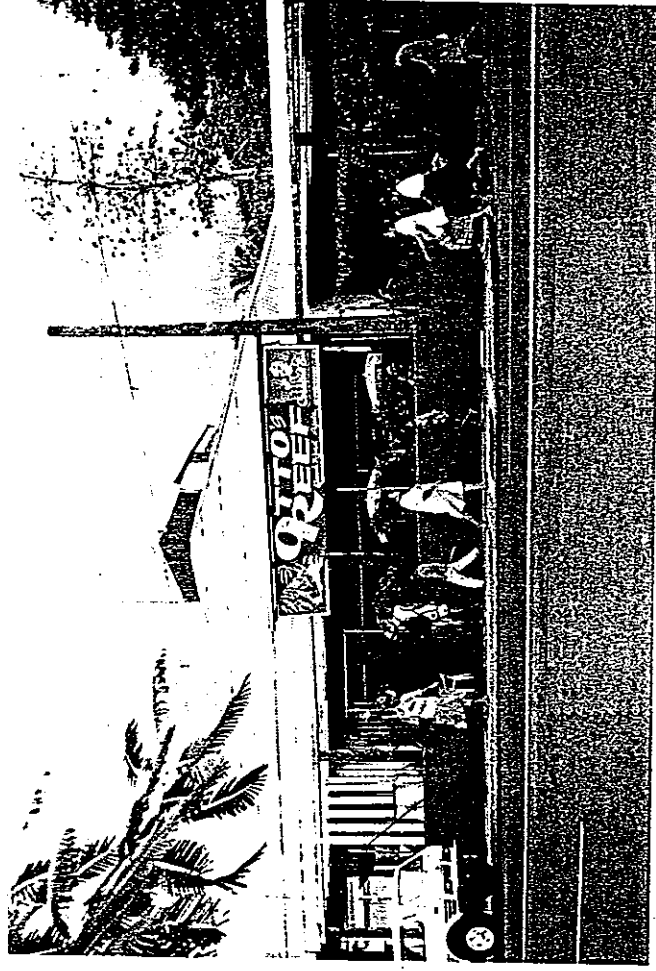
それでもまあこの密航者以外には死者も出ず、不幸中の幸いでしたが、困った事に機体も飛行場も言ってみれば虎の子。ポリネシア航空にとっては大打撃でした。飛行場の復旧には数日を要し、その後も運行スケジュールは回復していません。実はこの日、二人の日本人がサモアを離れる予定でいたのですが、二人とも予定を変更せざるをえませんでした。一人は西サモア青年海外協力隊の調整員。彼女はこの日隊員から採血した血液を持ってニュージーランドへ飛び、検査を受ける予定でいました。ところが、この事故でフライトがキャンセル。2日後に再度隊員を召集して採血のやり直し、というおまけが付いてしまいました。もう一人の日本人はやはり協力隊の隊員で、3週間の休暇を取って旅行に出かけ、途中で西サモアに寄った所この事故にあい、本人が搭乗していなかったのが幸いですが、貴重な休暇を西サモアで過ごす事になってしまいました。2日後にニュージーランド航空にチケットを振り替えてもらい、無事目的地であるクック諸島に向かいます。西サモアはニュージーランドとクックの間にあると言うのに、ニュージーランド経由でクックに到着というところでもない遠回りの旅でした。そして、帰国日。この時もポリネシア航空の運行は復旧しておらず、予定延長。更に2日滞在を延ばし、再びニュージーランド経由で西サモアに帰ってききました。航空機の予定変更に伴う宿泊費は通常航空会社負担になるのですが、クックではポリネシア航空発行のクーポンは受け取ってもらえず、とりあえず自分で立て替え払いをしたと言うおまけまでみやげ話にしてくれました。国营の航空会社としては何とも不甲斐のない話です。頑張り、ポリネシア航空！

— Fa'afetai Lavatakaのサモア便り 第18号 '94年10月9日（小塚孝則隊員（平成4年度2次隊 在庫管理））より文・写真とも転載させていただきました。

現地最新状況

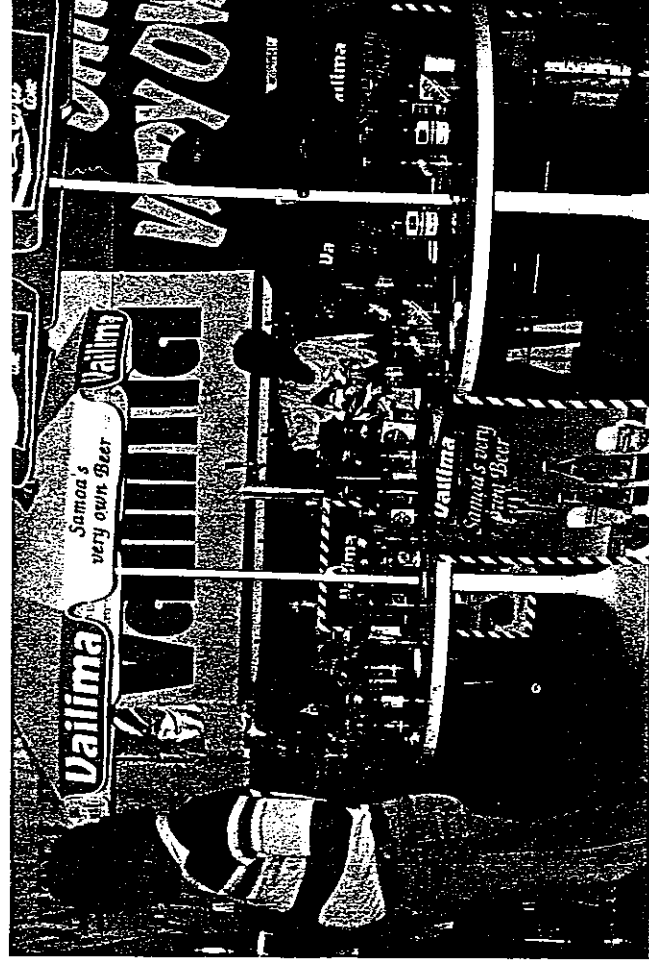


JOCV OFFICE

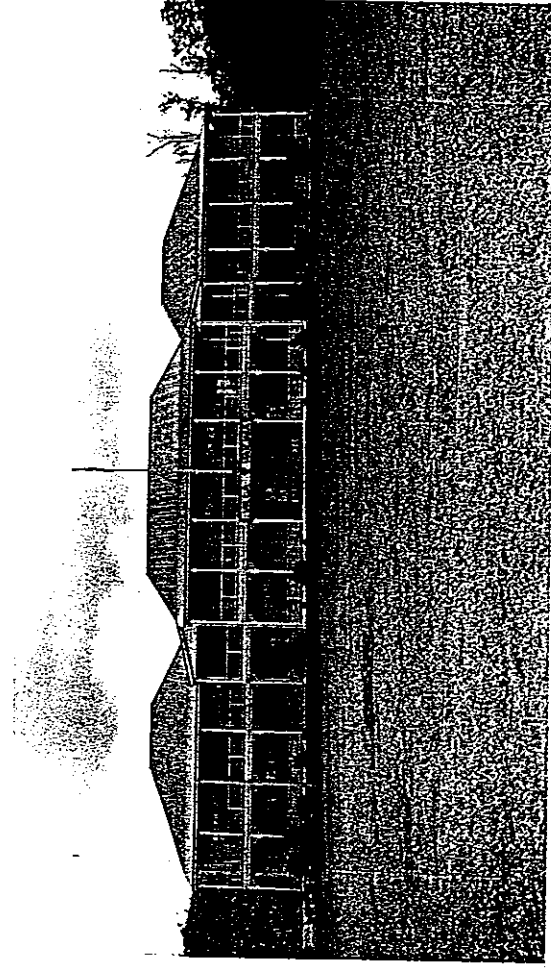


オートーズリーフ

現地最新状況

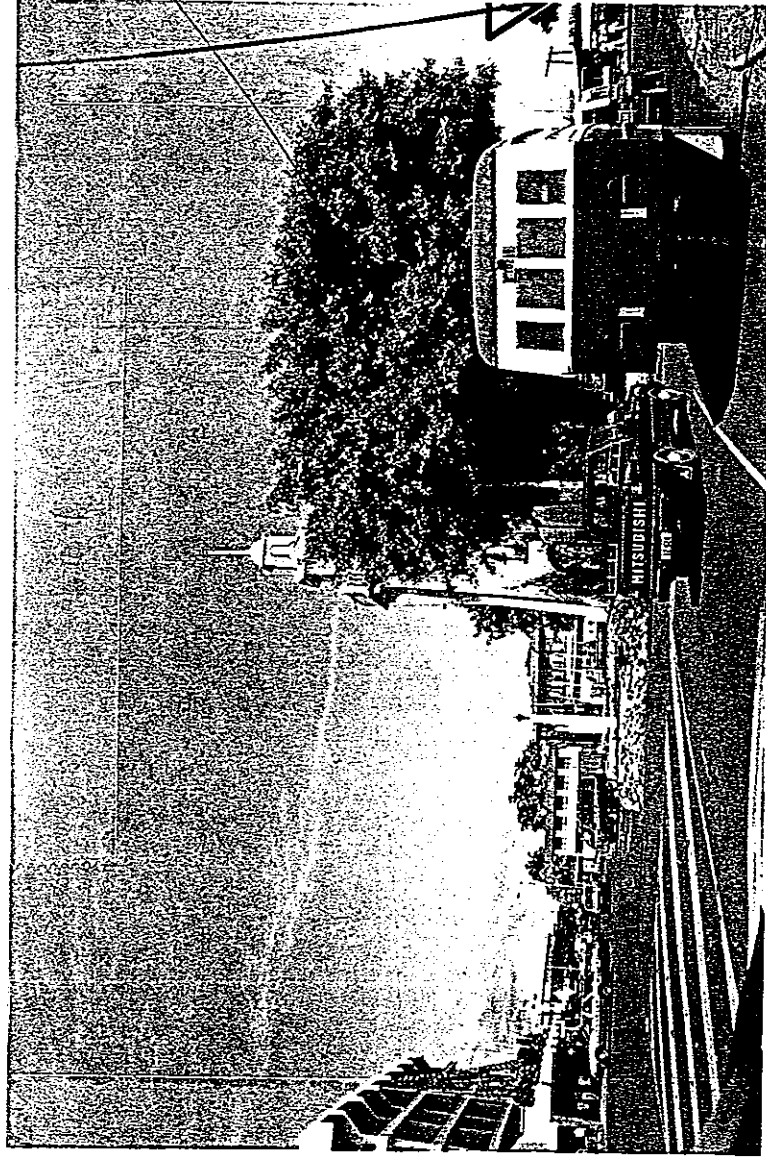


Vailima Beer

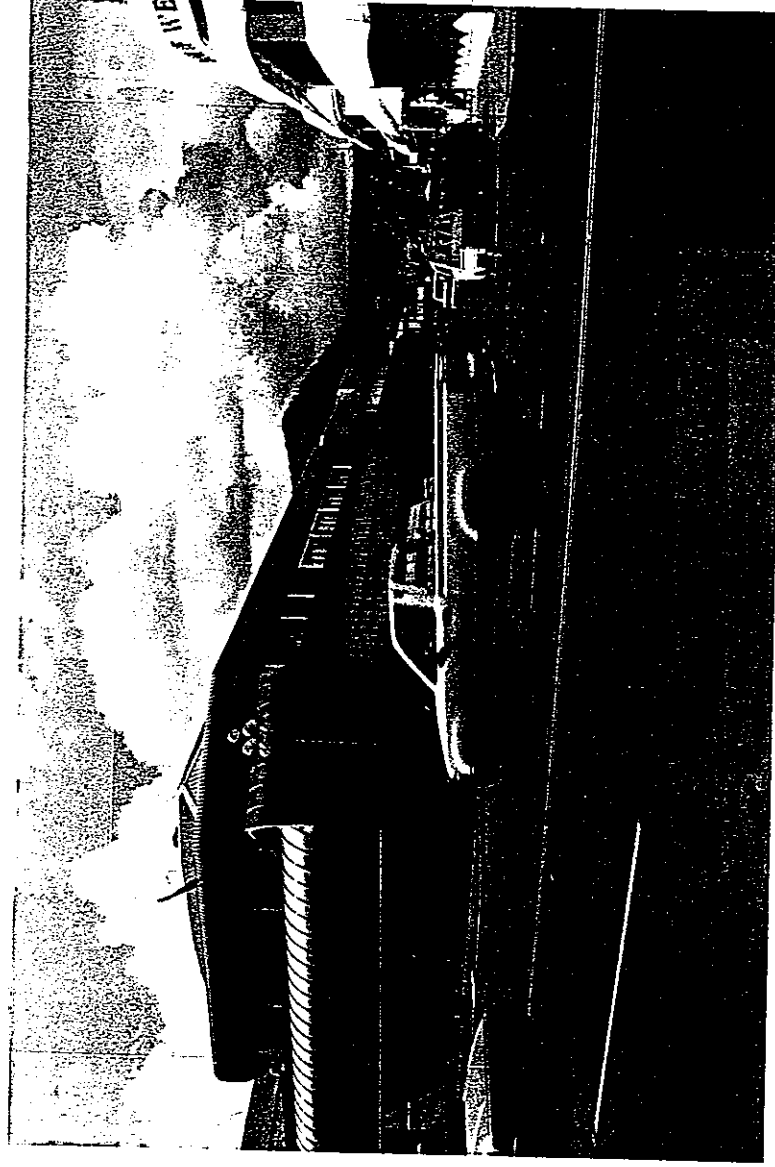


ステイブンソンの家

現地最新状況

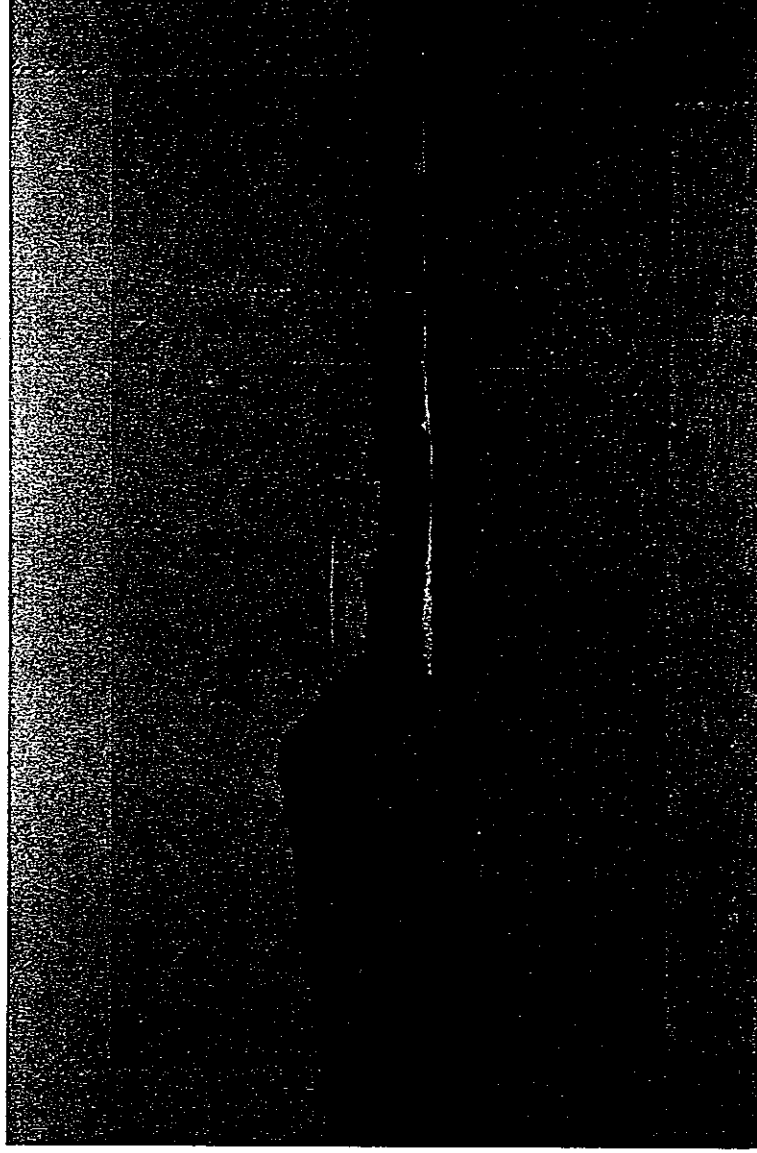


クロックタワー

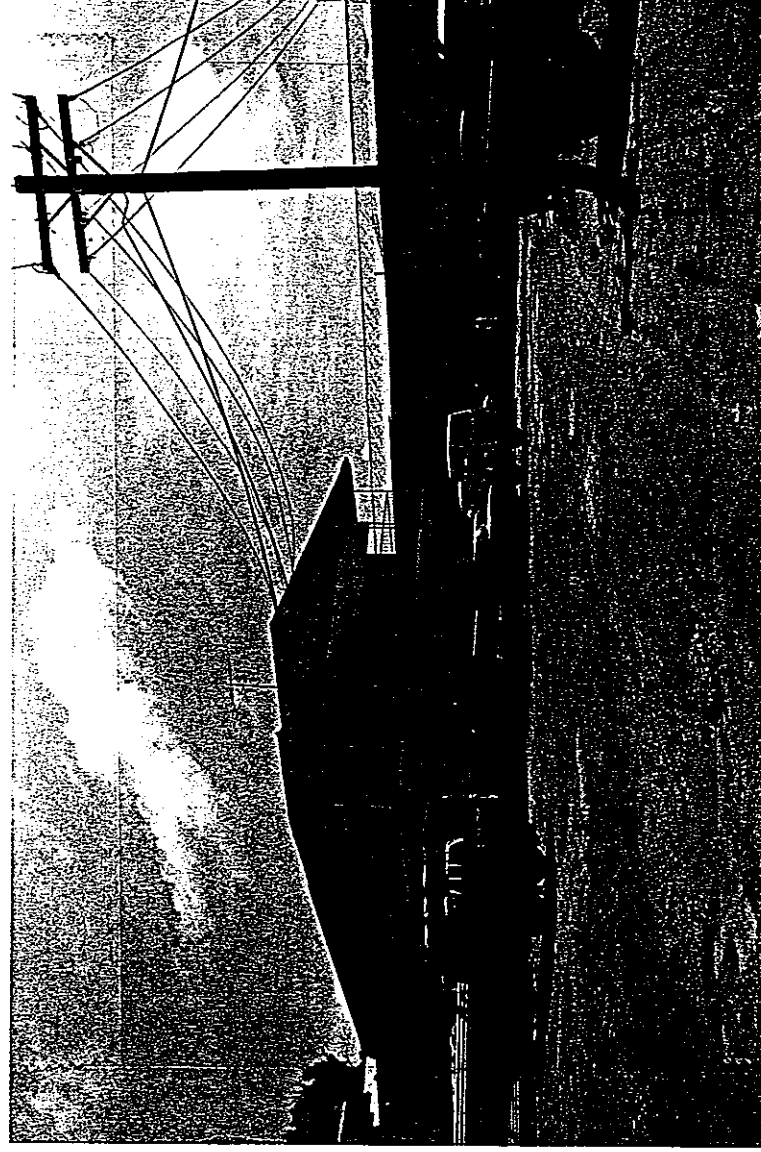


POST OFFICE

現地最新状況



Lady Samoa



PWD OFFICE

西サモア研修生からの日本リポート

1. Impression of Japan.

It is obvious that Japan is one of the richest countries of the entire world. This is my first experience of this country, and of course this is the best of all the countries that I had ever been financially, unfortunately the most highest in the cost of living.

Firstly, I am so amassed with the magnificent efficiency and reliability of transportation network facilities, which in fact enable commuters or anybody to get designated destination as punctual as possible, despite the fact of crowded trains during the busy hours with the terrible practice of chikan, and the expansiveness of the transportation fees.

I am very delighted with the availability of self-serviced luxury machines in almost everywhere which fortunately enable anyone to buy any needed social articles at his/her convenience, even the condoms are available in these machines which is quite ridiculous.

I am so impressed with the convenient common usage of cards instead of direct money or booklets, in many different areas of electronic technology, for instance, commute passes, meal card, bank cards to buy train tickets and so for, which of course shows the presence of advanced modern technology.

I do admire many tourist attraction sites, amusement park, merry-go-round, and many more scattered all over the country, for anyone eagerness for enjoyment.

I am so surpassed with many tall sky scuppers in especially the metropolitan cities, like the sunshine city, landmark and many more, which sometimes unable to see the tops due to fog or clouds.

I am pleased with mostly the varieties of different foods in Japan, which sometimes make me wonders how people initiated such types of recipe, what mostly interests me is sashimi, sushi, nabe, shiokara also some of my favorites kusaya, also delicious despite its stinky smell.

The warmth hospitality of the people is the most impressive of all the bitterness. They are so mean to their designation or profession, which I do believe, it is the main reason behind the country's fast development. The kindness and the quietness of people psychologically reflects on the environment looking much more innocent to itself and perhaps calm in someways, unfortunately the sophisticated modern technology polluters the natural beauty of the atmosphere with so much of various noises deviating omnidirectionally and nobody can help it anyhow.

We do have a lot of differences tradition-wise, for instance, in my country, women are inferior to men, whereas in Japan, it is really the other way round. In the villages in my

country, people live under the chief(matai) system authority, which I should call, a very strict authority. Our state constitutional laws and the village own laws are abided under this authority. In this country, like many other countries of the world. It has none like this definitely.

Usually people have to be optimistic to be pessimistic, in Japan, one has to be pessimistic to be optimistic.

2. Conclusion

It is my privilege to express my sincere enthusiastic appreciation on behalf of my government, to the Kanagawa government for granting me this rare gracious opportunity to further my career in radio telecommunications, in this country of high advanced modern digital electronic technology, honestly. I have learnt a lot of which surprises me of various new digital radio system in my field, and I do very much believe that I will be of great helpful to my country's technical development and wonderful workmanship telecommunication-wise in the long run.

My greatest sincere gratitude to NTT Kanagawa staff members especially Kanagawa Radio and Transmission construction Kawasaki, for many different ways. I honestly take my hat off, to them. I am very very glad that I have been trained by high level radio engineers and experts of NTT Kanagawa in Odawara, Atsugi, Yokosuka, Fujisawa, Yokohama, Oshima, and Kawasaki, which is a chance that is rarely obtained in ones lifetime.

I will not also forget the sensational great effort of the center staff members, watchers, cleaners and restaurant Fuji staff members for their caring ability of us,(trainees) during our safe and enjoying stay in Japan. I wish that they will continue on their outstanding work in the future.

NAME:Simone Potifara

OFFICE:Telecommunication Dept.Western Samoa

PROFESSION:Snr, Radio Technician

TRAINING IN JAPAN:Radio Communication

西サモアからのお知らせ

先般、西サモア梅園調整員から手紙が役員会宛てに郵送されてきました。手紙の内容は今年協力隊は30周年を迎え各国事業所から記念事業に対する企画案を募集しているそうです。それに伴って西サモアからも下記の企画案を考えているという事で我々西サモアOB・OG隊員に協力をしたいとのこととです。具体的には項番1で我々のOB・OGの協力隊時代のエピソードや思い出話、また、日本での最近の状況についてできれば最近の写真を添えて欲しいとのこととです。

我々役員会も全面的に協力して行きたいと思っております、つきましては、OB・OG隊員の皆様にも是非ともご協力を賜ればと思う次第であります。ちなみに、原稿は英語でも日本語でも可能だそうです。（下記住所にお送り下さいませます様お願い申し上げます。）

1. "西サモアのOB・OGは今"と題してOB・OGの皆さんからのお便りや写真を掲載した小冊子を各配属先省庁等に配布する。

2. 30周年記念切手の発行

広く一般から公募したデザイン・絵画（題材は"日本について及び協力隊員に対するイメージ"）を西サモア郵政省が発行する切手のデザインに採用してもらう。

3. 協力隊活動のパネル展の開催

大洋州だけではなく全世界的な隊員活動について紹介するパネル展を開催する。

4. 協力隊活動紹介

ビデオ上映や会議形式での質疑応答など。

5. 広報活動

テレビ・ラジオ・新聞

郵送先：〒114 東京都北区滝野川7-2-1

谷端シティーハイイツ602号

大塚 一雄

以上

あの人は今・・・ (OB・OGの近況、トピックス)

本橋三千雄 (昭和49年度2次隊 建築設計)

サモアでのヨットレース出場が忘れられません。あのジョブリンは、今どこに・・・サモアの海とは、大きな相違のある東京湾ですが、クリージングを楽しんでいる今日この頃です。ポニート釣りにも挑戦したいと思っています。

萩原 俊夫 (昭和50年度2次隊 船舶機関)

リストラを受け、地方に転勤、8カ月目。大変です・・・。

山崎 清 (昭和51年度1次隊後期 野菜栽培)

3月16日、太平洋経済協力会議 (Pacific Economic Cooperation Council) の一行10人が大島に来島。温室の花について英語で説明した。一行の中に西サモア、フィジー、トンガの代表がいて大変なつかしく思いました。まさか、大島で彼らに会えるとは感激もひとしおでありました。

飯田 敏夫 (昭和52年度2次隊 建築)

特になし。

土井 章 (昭和55年度4次隊 土木施工)

(ご家族より)

現在、本人は英国マサチューセッツ大学に留学中。平成7年10月帰国予定。

藤本 秀光 (昭和56年度1次隊 冷凍機器)

2カ月ほど旅行をして帰ってきたばかりです。日本にいないことが多く、また東京にいないことも多く、悪しからず。(2月1日、'95)

米田 公生 (昭和56度1次隊 公衆衛生)

中日新聞の取材を先日受けました。長野版の新年企画として、OB特集を1月1日から何回か実施するそうです。

露内 良廣 (昭和58年度4次隊 自動車板金)

毎年、夏に行われているサモアツアーに今年こそ今年こそと毎年思いつつも実現しないでいます。是非、来年こそ行きたいと思う今日この頃です。

今出 昌一 (昭和61年度2次隊 歯科医師)

11月に引っ越しました。新住所は表記のとおりです。住所の変更をお願いします。

(新住所は、住所録をご参照下さい。編集部)

友人が11月に西サモアへ行きました。僕の配属先の病院で、日本人歯科医師がシルバ一ボランティアとして派遣されているので会いに行ったそうです。配属先には、まだ僕を覚えていてくれる人がいたと聞き、うれしく思いました。

星野 隆志 (昭和62年度1次隊 自動車整備)

もうどっぴりと群馬の生活に染まってしまい、東京へ出ることもなくなってしまいました。

安達 博 (昭和62年度2次隊 通信電力)

西サモアを離れて早くも5年が過ぎ、今では“Japanese Businessman”の名に恥じない日本人に戻りました。非効率、無責任、不正確、ルーズ、etc・・・がなつかしい！！

當宮 成人 (昭和62年度2次隊 船舶機関)

大塚さんより依頼の例のレポートで、トホホ・・・状態です。

新井 克芳 (昭和63年度1次隊 電話交換機)

近況。

昨年8月に長女“菜奈”が生まれ、出来るだけ毎日お風呂に入れるようにしています。日に日に表情が豊かになり、新しい発見の毎日です。

鎌田 和浩 (昭和63年度1次隊 在庫管理)

教師業にねって3年。サラリーマン業から転進してやっと水に慣れ、もう2度とこの水から脱出できないなと思う今日この頃。5月には二人目ができる予定ですが、なかなか、予守が大変。自分に似ているのか気が強く、女の子なのにと、将来に不安が・・・。

中西 泰敬 (昭和63年度1次隊 道路)

家内の妊娠、5カ月。

大塚 一雄 (昭和63年度3次隊 システムエンジニア)

皆さん、元気でやってますか？ 私の方は、公私にわたり忙しい毎日を送っています。又、今年は自分にとって決断の年になりそうです。

當宮（岩田） 雅子（昭和63年度3隊 臨床検査技師）

相変わらず、ふたりに仲良くやっています。

森井健太郎（昭和63年度3次隊 視聴覚教育）

‘94. 12/29～’ 95. 1/5まで、念願のインドへ行ってきました。

岩本 融（平成元年度1次隊 視聴覚教育）

南の国サモアから帰国して早3年半が経ち、現在は南とは正反対の北の国ロシア関係の仕事をしています。今まで全くなじみがなかった言語なので閉口していますが、サモアに行つてサモア語を初めて覚えたように少しずつ、慣れようと思っています。最後に一言、ロシアには美人が多い。

杉村（足立） 知子（平成元年度1次隊 獣医）

H. 6. 7. 9に二人目、長女を出産しました。名前は、海帆（みほ）。只今、育児の真っ最中。仕事も育児休業で暮までお休みです。

市川 勝彦（平成元年度2次隊 電気機器）

復社予定で協力隊に参加したのに、一年任期延長してつて、帰国もう2年目。仕事が無く、都落ちの田舎暮らしでずっと落ち込んでいました。サモアでのヨットの味が忘れられず、来年からは木造りディンギー製作に向けて出発しようと思っています。

安田 和幸（平成2年度2次隊 システムエンジニア）

帰国して3度目の冬を過ごしています。この冬のインフルエンザには、大変悩まされました。もう一度、海外で仕事をしたいと思いつけていますが、なかなか思いどおりにならないものです。親には、「もう、〇〇歳になるんだから・・・」と言われ続け、次第に考え込むことが多くなる今日この頃です。

石垣 智（平成2年度3次隊 土木施工）

娘の父親となりました。名前は成海（なるみ）。当分、親バカになります。

小金丸敏夫（元西サモア国担当、現JOCV事務局国内第一課 課長代理）

JOCV事務局勤務5年になりますので、日本の僻地、世界の僻地、どこでもとばしてくれとアピールしていますが、何の話もありません。毎週末の勝浦釣りに行きで気分は“五島列島の少年かへミングウェイ”になっていますが、最近は刺身可能サイズのメジナが釣れるようになり、家庭菜園の野菜とともに週末の食卓をリッチににぎわしています。

○ このほかに、葉書アンケートに答えて下さった皆さんは以下の通りです。

近藤 徹也 (昭和57年度4次隊 通信電力)

宅島 弘幸 (昭和62年度3次隊 自動車板金)

坂口 明 (平成元年度2次隊 建築構造計算)

日野 治 (平成元年度3次隊 無線通信機)

酒井 修二 (平成3年度3次隊 道路)

長縄 弘美 (平成3年度3次隊 通信電力)

及川 茂 (平成4年度1次隊 無線通信機)

楠原 健一 (平成4年度1次隊 村落開発)

平成6年度2次隊として西サモアに派遣予定の皆さんにアンケートに答えていただきました。

1. 名前：成田能暢しののが
2. 職種：視聴覚教育
3. 誕生日：昭和42年1月21日
4. 好きな色：緑
5. 大切にしている言葉・物：知足
6. 協力隊に参加する前の仕事（休職／退職）
退職、カラー写真の仕上げ（アルバイト）
7. 西サモアでの仕事
青年スポーツ文化省でのビデオ制作（国家行事、スポーツイベント等）
8. 西サモアでやりたいこと
各省庁のビデオスタジオとネットワークをつくりたい
9. 協力隊に参加すると聞いた時の家族の反応：好意的
10. 協力隊に参加した理由

（この質問は聞かれる度に違う答えをしていますが）役立たず（無駄食ぐらい）になりそうだったから、貧乏だったから等

1. 名前：澤井慶太
2. 職種：音楽
3. 誕生日：昭和42年10月12日
4. 好きな色：白
5. 大切にしている言葉・物
なんじ自身を知れ。過去に書いた曲
6. 協力隊に参加する前の仕事（休職／退職）
退職、お菓子さん
7. 西サモアでの仕事：音楽学校でギターを教える
8. 西サモアでやりたいこと
あえて言えば、サモア語を覚えること、でしょうか。
9. 協力隊に参加すると聞いた時の家族の反応
大いに結構、是非行きなさい。
10. 協力隊に参加した理由：日本でやるのがなくなってしまった。

1. 名前：坂本あかね
2. 職種：家政
3. 誕生日：11月7日
4. 好きな色：赤、ピンク
5. 大切にしている言葉・物
犬の写真、友人、ハート(heart)
6. 協力隊に参加する前の仕事(休職/退職)
退職、東京ガスのクッキングレディー(料理の講師)
7. 西サモアでの仕事
家政、村々をまわり、料理(特に野菜を取り入れた)の講習などを
婦人会相手に行う。
8. 西サモアでやりたいこと
サモアン料理や各国から来ている人々からその国の家庭料理を習い
たいです。
9. 協力隊に参加すると言った時の家族の反応：驚いたの一言です。
10. 協力隊に参加した理由
海外へ出て、多少なりとも私でできることがあったらやりたいと思った
ため。(私の作った料理を人々に喜んで食べてもらい、そのことにより、
よりいっそう幸せな気分になってほしかった。)

1. 名前：土屋博美
2. 職種：養護
3. 誕生日：昭和45年9月16日
4. 好きな色：青、みどり
5. 大切にしている言葉・物：家族
6. 協力隊に参加する前の仕事(休職/退職)
退職、作業所の臨時職員
7. 西サモアでの仕事：アツオガ、ロトウマファイ
8. 西サモアでやりたいこと：友達を多勢つくる
9. 協力隊に参加すると言った時の家族の反応：反対された
10. 協力隊に参加した理由
日本を出て、外からいろいろ見たいと思ったから

1. 名 前：大沢もとい
2. 職種：システムエンジニア
3. 誕生日：7月4日
4. 好きな色：青
5. 大切にしている言葉・物：
サモア語の聖書と賛美歌（これが読めるようになりたい）
6. 協力隊に参加する前の仕事（休職／退職）
退職、銀行系のシステムエンジニア
7. 西サモアでの仕事：ポストオフィス・セービングバンクのシステム管理
8. 西サモアでやりたいこと
サモア語をマスターし、多くの人とコミュニケーションをとること
9. 協力隊に参加すると言った時の家族の反応
最初は「アフリカに行く」と言っていたので、西サモアならホッ...
という感じだった。
10. 協力隊に参加した理由
子どもの頃から貧困・飢餓問題に関心をもっており、大学でも開発経済を勉強した。実際にそのフィールドを求めたところ、協力隊に参加することになった。

BBQリポート

昭和61年2次隊

船舶機関

富宮 成人

昨年10月23日爽やかな秋晴れのもと、東京都立川市の昭和記念公園において、JOCV西サモアOB・OG会主催のBBQ大会が開催されました。

当日、いつものように集合時間の12時をかなり遅れて、客観的にみると一種異様な万年青年たちがぞろぞろと集まり始め、BBQの準備が始まりました。久し振りに会った人たちと談笑する人、黙々と準備をする人と様々でしたが、西サモアでならした腕、約30分で準備が完了。会長の徳山氏（61-2 理数科教師）の挨拶の後、参加者の中で最年長の近藤氏（48-1後 建築設計）の乾杯の音頭で秋空の宴が始まりました。参加者は約30人、関東一円に住むOB・OGとその家族、友人及び賛助会員、また、広尾で訓練中の平成6年2次隊の候補生、サモアから研修生にも参加いただいただき場を盛り上げて頂きました。中には、往復半日以上をかけて駆け付けてくれたOBもいました。

次々に焼き上がる肉や野菜に下鼓を打ちながら、各々の近況を語り合ったり、ビールを片手にジョークを飛ばしあったりして、和やかな雰囲気では進みました。ビールの酔いで宴たけなわとなった頃、サモアからの研修生シモーネ氏の日本語を交えた英語での挨拶の後、訓練中の候補生にサモア赴任に当たったの抱負等を語って頂きました。最後に徳山会長による次回総会の開催についての案内及び閉会の挨拶で会はお開きとなり、参加者は各々の家路に尽きました。中には、徒歩で立川駅前」まで行き遅くまで飲んでいた強者もい多層です。

帰国して数年が経ち、一家の主として頑張っている人、独身貴族の生活を謳歌している人、家族を持った今でも不良中年をやっている人、皆、各々の人生を歩んでいるようでした。

当日、幸運にも天候に恵まれ多くの人たちに参加頂き、有意義な親睦会となりましたが、ただ一つ残念だった事は、地方に住んでいる会員の皆さんが参加出来なかった事だと思えます。これを今後の課題として、定期的にこのような催しを行って頂きたいと思っております。

以上

本誌のタイトル 「Manuuiia」に決定！

アンケートにより、OB・OGの皆様から得られた回答をもとに、本誌のタイトルを「Manuuiia」に決定いたしました。皆様から寄せられたなつかしいサモア語の案に運営委員も忘れかけていたサモアでの思い出がよみがえり、しばし語り合ってしまった。なお、アンケートの結果は以下のとおりでしたが、上位3つが同数であったため、運営委員の独断で最終決定させて頂きました。

・Munuuuia	3
・TALOFA	3
・Maloo	3
・マヌイア	2
・マシナ	2
・タノア	1
・タウサガヤパニ	1
・ウオー	1
・サモアン	1
・タロファ通信	1
・Tusi Samoa	1
・南太平洋	1
・THE DATE LINE	1
・Samoa i Sisifo	1
・マシナ in JAPAN	1
・Post マシナ	1
・Popole fua	1
・sami	1
・Vailima	1

役員会活動内容

私ども役員会は下記の等り活動を行っております。

1. 平成6年 1月29日 (土) 第一回青年海外協力隊西武70B・0G会開催
2. 平成6年 3月 5日 (土) 住所録・会報作成準備作業
3. 平成6年 4月23日 (土) 第1号会報発送作業
3. 平成6年 7月16日 (土) 今後の活動内容・役割分担決定
4. 平成6年 7月30日 (土) B B Q パーティー準備作業
5. 平成6年 9月 3日 (土) B B Q パーティー準備作業
6. 平成6年10月 5日 (土) B B Q パーティー準備作業最終確認
7. 平成6年11月12日 (土) B B Q パーティー反省会および会報作成準備作業
8. 平成6年12月17日 (土) 会報作成準備および作業分担決定
9. 平成7年 1月21日 (土) 会報作成作業進捗確認
10. 平成7年 2月25日 (土) 会報作成作業進捗確認
11. 平成7年 3月18日 (土) 会報作成最終作業確認および発送準備

＊ 平成6年11月12日以降、本役員会は毎月第三土曜日を定例会としております。

また、本役員会においては新規会員の勧誘および青年海外協力協会(JOCA)への団体登録申請作業も平行して行っております。今後の予定として春または、秋に親睦会を予定しています。

以上

会計報告（1994年度）

収入の部

年会費	173,550円
寄付金	16,500円
第1回OB・OG会宴会費残高	29,065円
OB・OG会懇親会（BBQ）残高	21,736円

支出の部

事務用品代	3,326円
会報、葉書等送料	103,537円
震災義援金	10,000円

総計（1995年度への繰越金）

123,988円

以上報告致します。

1995年3月31日

会計 安田 和幸

（平成2年度2次隊 シティエンジニア）